

平成23年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

三重県監査委員

平成24年8月

監 査 第 42 号
平成 24 年 8 月 23 日

三重県知事 鈴 木 英 敬 様

三重県監査委員 植 田 十志夫

三重県監査委員 青 木 謙 順

三重県監査委員 後 藤 健 一

三重県監査委員 田 中 正 孝

平成 23 年度三重県公営企業会計(病院事業庁)決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、平成24年5月31日付け総務第07-43号で審査に付された平成23年度三重県病院事業会計の決算及び証拠書類を審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。

目 次

第1 審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査の手続	1
第2 審査の結果及び意見	2
1 審査の結果	2
2 審査の意見	2
第3 経営の概要	7
1 事業の概況	7
2 患者数の状況	7
3 決算の状況	8
第4 病院別の状況	18
1 総合医療センター	18
2 こころの医療センター	21
3 一志病院	25
4 志摩病院	29
第5 決算諸表	32

平成23年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成23年度 三重県病院事業

2 審査の手続

平成23年度三重県病院事業会計の決算審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (3) 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- (4) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

三重県病院事業庁が経営している病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するもののほかは、概ね適正に処理されているものと認められる。

2 審査の意見

ア 平成23年度決算と新たな経営計画の策定等について

平成23年度の病院事業会計の収益的収支における総収支は、約29億4,701万円の純損失となっており、前年度に比べ約23億9,217万円、赤字額は増加している。これは主に、志摩病院において、指定管理者制度への移行に伴う退職金の支払等により、約16億2,059万円の特別損失を計上したことによるものである。

総合医療センター及び志摩病院は、平成24年4月から新たな運営体制に移行したところであるが、病院事業庁においては、公営企業として、こころの医療センター及び一志病院の経営改善に向け、中期経営計画における「平成24年度年度計画」の病院の収支改善等に関して設定された目標が達成できるよう、病院の支援など積極的に取組を進められたい。

また、平成24年度は中期経営計画の最終年度であり、県立病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮するために、県立病院改革の動向を踏まえつつ、複数年を見据えた新たな経営計画を策定されたい。

なお、平成23年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

(1) 総合医療センター

総収支は約20億765万円の黒字であり、前年度に比べ約16億6,576万円、黒字額が増加している。

これは、企業債繰上償還補償金等の増により、特別損失が前年度に比べ約5億2,764万円増加したことや、看護師の増、固定資産除却損の増等により、医業費用が約2億6,362万円増加したものの、資本剰余金の病院間貸借解消等により、特別利益が前年度に比べ約26億6,079万円増加したことによる。

平成24年4月から地方独立行政法人化したところであるが、所管する健康福祉部と連携しながら、法人化のメリットを生かすことにより、刻々と変化する医療環境に柔軟かつ迅速に対応できるよう期待する。

(2) こころの医療センター

総収支は約 25 億 2,906 万円の赤字であり、前年度に比べ約 27 億 1,400 万円、収支が悪化している。

これは、資本剰余金の病院間貸借解消により、特別損失が前年度に比べ約 26 億 8,581 万円増加したことや、給与費等の増により、医業費用が前年度に比べ約 8,643 万円増加したことによる。

なお、経常収支では、各種医療相談、家族相談サービスの充実による外来患者数の増や、入院単価の増等により、約 2 億 6,103 万円の黒字を確保している。

病院機能の再編検討の結果策定された外来・相談機能の整備等の取組を着実に進めることで、地域生活支援体制を強化するとともに、救急・急性期医療等を推進し、精神科医療の中核病院として求められる役割や機能の充実を図られたい。

(3) 一志病院

総収支は約 9,578 万円の赤字であり、前年度に比べ約 1 億 2,730 万円、収支が悪化している。

これは、資本剰余金の病院間貸借解消により、特別損失が前年度に比べ約 1 億 680 万円増加したことや、給与費等の増により、医業費用が前年度に比べ約 2,936 万円増加したことによる。

なお、経常収支では、リハビリテーション部門の施設基準の維持・向上等に取り組んだ結果、入院単価・外来単価の増等により、約 2,442 万円の黒字を確保している。

当分の間、県立県営で運営を行うこととされており、引き続き、家庭医療を提供するとともに、訪問診療・訪問看護の充実など、地域の医療ニーズに対応されたい。

また、過疎化・高齢化が進む中、さらに在宅医療の支援や予防医療に取り組むとともに、総合医（家庭医）の育成拠点として整備し医師の育成を図るなど、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域医療の推進に努められたい。

※ 家庭医療＝性別、年齢を問わず、身近な病気を中心に、けがや心の悩み、病気の予防や介護なども含めて患者の相談にのり、総合的に診療を行う医療のこと。また、家庭医療に専門的に従事する医師を家庭医又は総合医と言う。

(4) 志摩病院

総収支は約 23 億 2,982 万円の赤字であり、前年度に比べ約 12 億 1,663 万円、赤字額が増加している。

これは、退職手当特例措置分の繰入金等の増により、特別利益が前年度に比べ約 5 億 1,551 万円増加したものの、退職給与引当金の増により、特別損失が前年度に比べ約 16 億 1,040 万円増加したことによる。

平成 24 年度から導入した指定管理者制度の特性を生かして、医師確保と運営体制の改善を図れるよう、病院事業庁においては、基本協定や業務報告等に基づきその運営状況を把握・評価しながら、指定管理者と連携しつつ、地域医療の確保・推進に努められたい。

収益的収支の状況

(単位：円)

病院名	区分	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)
総合医療センター	総収支	2,007,646,494	341,890,919	1,665,755,575
	経常収支	△ 118,469,662	348,929,919	△ 467,399,581
こころの医療センター	総収支	△ 2,529,064,422	184,933,281	△ 2,713,997,703
	経常収支	261,027,807	289,212,281	△ 28,184,474
一志病院	総収支	△ 95,776,002	31,523,039	△ 127,299,041
	経常収支	24,416,716	44,919,039	△ 20,502,323
志摩病院	総収支	△ 2,329,815,027	△ 1,113,182,845	△ 1,216,632,182
	経常収支	△ 1,224,734,949	△ 1,102,992,845	△ 121,742,104
計	総収支	△ 2,947,008,957	△ 554,835,606	△ 2,392,173,351
	経常収支	△ 1,057,760,088	△ 419,931,606	△ 637,828,482

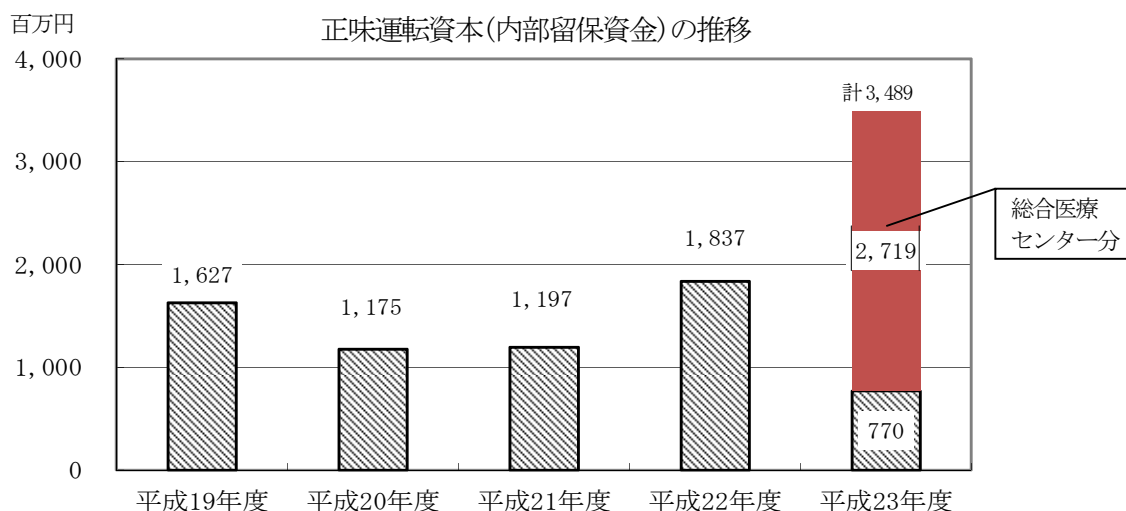
※ 経常収支は、総収支から特別利益・特別損失を除いたもの。

イ 資金収支の改善について

平成23年度末の正味運転資本（内部留保資金）は前年度より、約16億5,207万円増加し約34億8,938万円（流動資産約71億3,632万円から流動負債約36億4,694万円を差引いた額。流動資産のうち現金預金は約46億8,829万円）となっているが、この内部留保資金には、総合医療センターの約27億1,918万円を含んでおり、これを除くと約7億7,020万円である。

また、平成24年度からは資金収支が黒字の総合医療センターが病院事業会計から分離しており、今後、設備投資等に多額の資金が必要となった場合などには、資金収支がさらに悪化する場合も考えられる。さらに、病院間資金貸借解消等のために一般会計から約47億1,417万円の長期借入を新たに行っている。

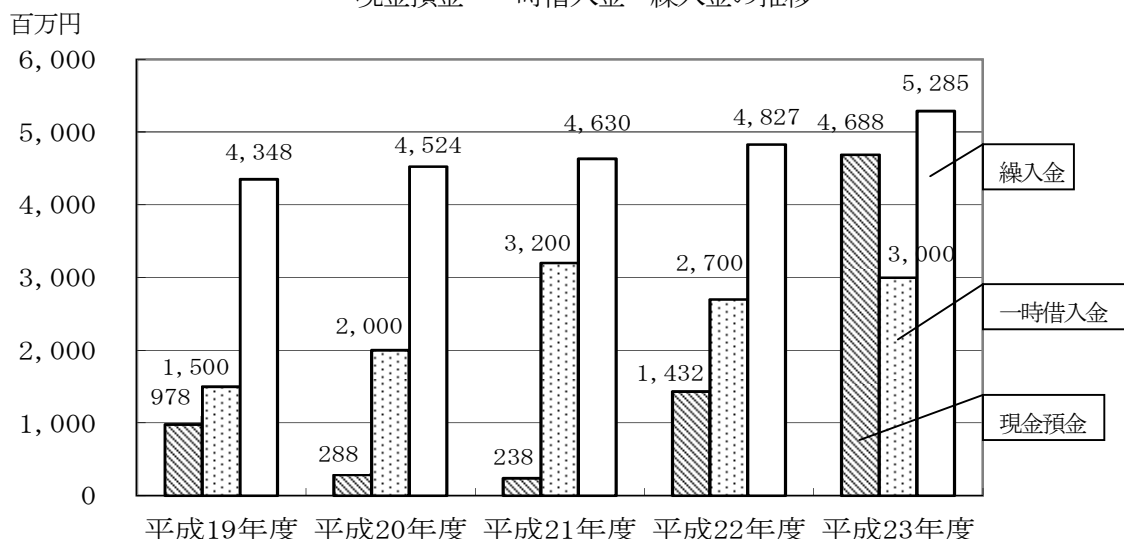
こうしたことから、将来の病院事業収支予測と資金計画及び改良計画等の整合のもと、より一層の資金収支の改善に努められたい。



※ 正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(未収金等)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(未払金等)を差し引いたもの。

現金預金・一時借入金・繰入金の推移



ウ 未収金の回収と発生防止について

平成23年度末における診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）が、4病院合計で約1億3,726万円となっている。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成23年度中に約1,792万円を回収（会計上の減額処理約3,126万円と合わせ過年度未収金は約4,918万円減少）しているところであるが、引き続き回収に向けての取組を進められたい。

また、平成23年度においては、約2,084万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続されたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：円)

病 院 名	平成23年度 A		平成22年度 B		増減 A-B	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合医療センター	430	87,303,213	482	104,721,056	△ 52	△ 17,417,843
こころの医療センター	133	31,544,268	179	34,274,875	△ 46	△ 2,730,607
一志病院	9	445,556	18	827,983	△ 9	△ 382,427
志摩病院	123	17,969,760	172	25,786,089	△ 49	△ 7,816,329
合 計	695	137,262,797	851	165,610,003	△ 156	△ 28,347,206

※ 平成24年度から法人化した総合医療センターは、23年度以前の過年度未収金についても同法人に引き継いで対応している。また、指定管理者による運営に移行した志摩病院の平成23年度以前の過年度未収金については、本庁（県立病院課）が所管している。

未収金増減の内訳

(単位：円)

病 院 名	新規発生	回収	会計上の 減額処理	計
総合医療センター	10,434,020	△ 7,002,573	△ 20,849,290	△ 17,417,843
こころの医療センター	6,845,260	△ 4,477,497	△ 5,098,370	△ 2,730,607
一志病院	17,593	△ 400,020	0	△ 382,427
志摩病院	3,538,985	△ 6,040,133	△ 5,315,181	△ 7,816,329
合 計	20,835,858	△ 17,920,223	△ 31,262,841	△ 28,347,206

エ 地方公営企業会計制度の見直しにかかる対応について

地方公営企業会計制度の見直しに伴い、地方公営企業法の一部改正が行われ、法定積立金（利益積立金等）の積立義務の廃止などが盛り込まれた資本制度については、平成24年4月から施行されている。

また、関係政省令も改正され、借入資本金の負債計上、みなし償却制度の廃止、退職給付引当金計上の義務化、キャッシュフロー計算書の導入などが盛り込まれた会計基準については、平成26年度予算及び決算から適用とされている。

病院事業庁においては、既にキャッシュフロー計算書の作成やセグメント情報（病院別損益計算書等）の開示を行っているところであるが、今後は、情報収集に努めるとともに、財務会計システムの改修等を計画的に行い、制度見直しに的確に対応されたい。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人化されたこと及び志摩病院に指定管理者制度が導入されたことに伴い、県組織としての「総合医療センター」及び「志摩病院」は廃止されている。

4病院の許可病床数は、平成23年度末時点で計1,286床であるが、一般病床のうち、総合医療センターで90床、志摩病院で118床が一時休床となっている。また、一志病院では療養病床44床が平成19年度から一時休床となっており、総合医の育成拠点としての整備を行うにあたって、24年4月から病床数を44床から40床に改めた。

なお、総合医療センターでは、看護師等医療スタッフが確保できたことから、平成23年11月から休床病床114床のうち24床が再稼働している。

県立病院の概要

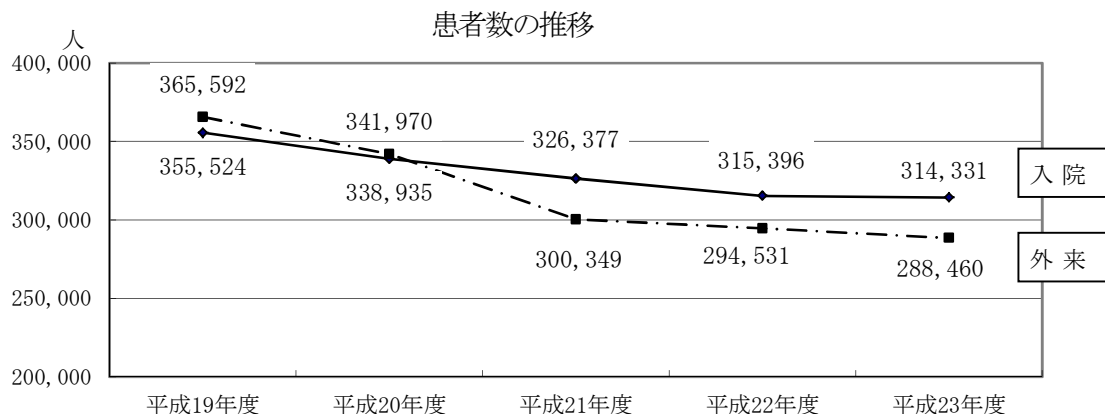
平成24年3月31日現在

病院名	総合医療センター	こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (平成23年度休診中のものを除く)	内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/外科/呼吸器外科/心臓血管外科/脳神経外科/小児科/産婦人科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/耳鼻咽喉科/精神科/神経内科/放射線科/麻酔科/眼科	精神科/ 内科/歯科 (内科・歯科は入院患者にのみ対応)	内科/外科/眼科	内科/循環器科/外科/脳神経外科/小児科/整形外科/皮膚科/眼科/耳鼻咽喉科/精神科/放射線科/泌尿器科/産婦人科/神経内科
病床数	一般	442 (352)	46 (46)	250 (132)
	療養		44 (0)	
	精神			100 (100)
	感染症	4 (4)	400 (400)	
	計	446 (356)	400 (400)	90 (46)

※ 病床数の () は、稼働病床数

2 患者数の状況

平成23年度の入院患者数は延べ314,331人(1日平均859人)で、前年度に比べ1,065人減少し、外来患者数は延べ288,460人(1日平均1,182人)で、前年度に比べ6,071人減少している。



3 決算の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出等

収入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
病院事業収益	21,276,032,000	21,230,149,497	△ 45,882,503	99.8%
医業収益	13,984,888,000	13,936,701,222	△ 48,186,778	99.7%
医業外収益	4,112,858,000	4,117,144,328	4,286,328	100.1%
特別利益	3,178,286,000	3,176,303,947	△ 1,982,053	99.9%

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
病院事業費用	24,710,145,000	24,174,225,143	535,919,857	97.8%
医業費用	18,557,697,000	18,253,017,133	304,679,867	98.4%
医業外費用	856,420,000	855,655,194	764,806	99.9%
特別損失	5,296,028,000	5,065,552,816	230,475,184	95.6%

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額に対し4,588万2,503円下回っているのは、主として入院収益の減少による医業収益の減4,818万6,778円による。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額に対し5億3,591万9,857円下回っているのは、主として給与費、材料費、経費（主に報償費、委託費）の執行残による医業費用の不用額3億467万9,867円による。

借入金

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
長期借入金	4,714,174,000	4,714,174,000	0	100.0%
企業債	1,529,406,000	1,359,500,000	△ 169,906,000	88.9%

収益的収支の枠外の事項として、病院間資金貸借の解消分44億5,875万9,000円及び志摩病院の資金不足分2億5,541万5,000円を一般会計から借り入れるとともに、志摩病院の指定管理者へ職員の身分移行を行うために必要な退職手当の財源に充てるため、企業債13億5,950万円を借り入れている。

企業債の決算額が予算額に対し1億6,990万6,000円下回っているのは、退職手当の額の確定による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
資本的収入	2,011,506,000	1,908,855,000	△ 102,651,000	94.9%
企業債	920,800,000	818,200,000	△ 102,600,000	88.9%
県費負担金	985,589,000	985,589,000	0	100.0%
国庫補助金	1,517,000	1,466,000	△ 51,000	96.6%
固定資産売却代金	100,000,000	100,000,000	0	100.0%
長期貸付金返還金	3,600,000	3,600,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	4,998,686,000	4,932,064,879	66,621,121	98.7%
建設改良費	932,368,000	865,750,029	66,617,971	92.9%
企業債償還金	4,041,718,000	4,041,714,850	3,150	100.0%
長期貸付金	24,600,000	24,600,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額に対し1億265万1,000円下回っているのは、主として企業債の借入額の減1億260万円による。
- ② 資本的支出の決算額が予算額に対して6,662万1,121円下回っているのは、主として器械備品購入費の執行残による建設改良費の不用額6,661万7,971円による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額30億2,320万9,879円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額99万1,148円及び過年度分損益勘定留保金30億2,221万8,731円で補てんしている。

(2) 経営成績

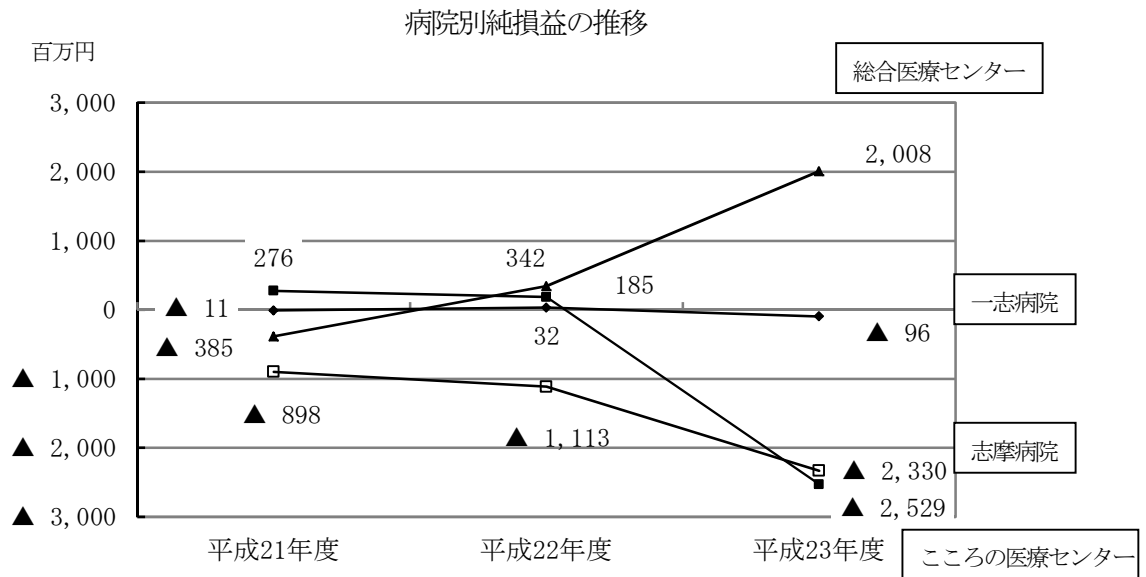
純損益の状況

(単位：円)

所 属 名	総収益 (A)	総費用 (B)	純 損 益 (A) - (B)
総合医療センター	12,646,810,990	10,639,164,496	2,007,646,494
こころの医療センター	3,430,050,222	5,959,114,644	△ 2,529,064,422
一 志 病 院	845,380,742	941,156,744	△ 95,776,002
志 摩 病 院	3,923,490,033	6,253,305,060	△ 2,329,815,027
県立病院経営室	364,112,788	364,112,788	0
計	21,209,844,775	24,156,853,732	△ 2,947,008,957

平成 23 年度の純損益は、総合医療センターが 20 億 764 万 6,494 円の黒字、こころの医療センターが 25 億 2,906 万 4,422 円、一志病院が 9,577 万 6,002 円、志摩病院が 23 億 2,981 万 5,027 円の赤字となっている。

なお、平成 22 年度に黒字であったこころの医療センター及び一志病院が赤字となったのは、資本剰余金の病院間貸借解消により特別損失が増加したことによる。



(3) 一般会計繰入金

(単位：円・%)

項 目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A)/(B)	
総合医療 センター	医業外収益	1,592,622,000	1,586,578,773	6,043,227	100.4
	特別利益	18,294,000	0	18,294,000	皆増
	資本的収入	517,331,000	505,237,000	12,094,000	102.4
	計	2,128,247,000	2,091,815,773	36,431,227	101.7
こころの医療 センター	医業外収益	934,007,000	997,066,329	△ 63,059,329	93.7
	資本的収入	199,579,000	190,278,000	9,301,000	104.9
	計	1,133,586,000	1,187,344,329	△ 53,758,329	95.5
一志病院	医業外収益	296,380,000	299,993,000	△ 3,613,000	98.8
	資本的収入	51,723,000	50,461,000	1,262,000	102.5
	計	348,103,000	350,454,000	△ 2,351,000	99.3
志摩病院	医業外収益	735,770,000	727,533,511	8,236,489	101.1
	特別利益	365,400,000	0	365,400,000	皆増
	資本的収入	216,956,000	205,033,000	11,923,000	105.8
	計	1,318,126,000	932,566,511	385,559,489	141.3
県立病院 経営室	医業外収益	357,063,000	264,884,600	92,178,400	134.8
	資本的収入	-	-	-	-
	計	357,063,000	264,884,600	92,178,400	134.8
合 計	医業外収益	3,915,842,000	3,876,056,213	39,785,787	101.0
	特別利益	383,694,000	0	383,694,000	皆増
	資本的収入	985,589,000	951,009,000	34,580,000	103.6
	計	5,285,125,000	4,827,065,213	458,059,787	109.5

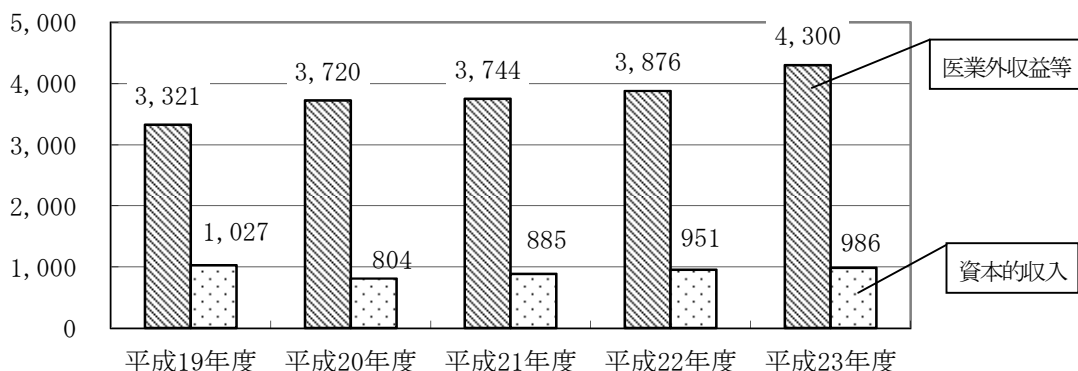
(注) 医業外収益＝建設改良及び退職手当特例措置に要する経費以外の繰入金
 特別利益＝退職手当特例措置に要する経費の繰入金
 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、高度医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが
 適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一
 般会計から繰入が行われている。

平成23年度の医業外収益の繰入金は、39億1,584万2,000円であり、前年度に比べ
 3,978万5,787円(1.0%)増加している。増加した主な理由は、医療行政に要する経
 費(県立病院経営室人件費等)に対する繰入金の増による(H23=311,627千円、
 H22=185,272千円、126,355千円の増)。特別利益の繰入金は、3億8,369万4,000円
 であり、前年度に比べ皆増している。これは、医療行政に要する経費(総合医療センター
 及び志摩病院の退職手当特例措置)に対する繰入金である。資本的収入の繰入金は、9
 億8,558万9,000円であり、前年度に比べ3,458万円(3.6%)増加している。増加し
 た理由は、企業債償還に対する繰入金の増による。

百万円

一般会計繰入金の推移



※ 医業外収益等には、特別利益を含む。

(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区 分	前年度末残高	前年度処分額	当年度変動額	当年度末残高
資本金	26,078,052,273	0	△ 3,223,514,850	22,854,537,423
自己資本金	556,955,147	0	0	556,955,147
借入資本金	25,521,097,126	0	△ 3,223,514,850	22,297,582,276
剰余金	3,174,182,129	0	△ 2,143,841,194	1,030,340,935
資本剰余金	9,482,219,124	0	803,167,763	10,285,386,887
受贈財産評価額	138,468,297	0	△ 6,272,015	132,196,282
補助金	1,677,148,526	0	△ 33,361,726	1,643,786,800
県費負担金	7,656,552,301	0	842,801,504	8,499,353,805
その他資本剰余金	10,050,000	0	0	10,050,000
欠損金	△ 6,308,036,995	0	△ 2,947,008,957	△ 9,255,045,952
未処理欠損金	△ 6,308,036,995	0	△ 2,947,008,957	△ 9,255,045,952
資本合計	29,252,234,402	0	△ 5,367,356,044	23,884,878,358

① 資本金の当年度末残高 228 億 5,453 万 7,423 円は、前年度末残高 260 億 7,805 万 2,273 円から平成 23 年度中の変動額 32 億 2,351 万 4,850 円を差し引いた額である。企業債の繰上償還等により借入資本金が減少している。

② 剰余金の年度末残高 10 億 3,034 万 935 円は、前年度末残高 31 億 7,418 万 2,129 円から平成 23 年度中の変動額 21 億 4,384 万 1,194 円を差し引いた額である。他会計繰入金を受入により県費負担金が増加している。

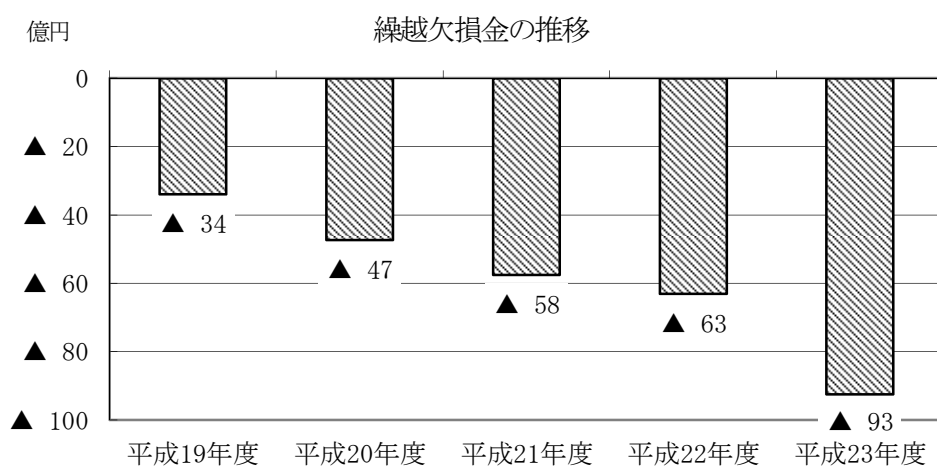
なお、未処理欠損金の当年度末残高 92 億 5,504 万 5,952 円は、前年度末残高 63 億 803 万 6,995 円に当年度変動額（平成 23 年度純損失）29 億 4,700 万 8,957 円を加えたものである。純損失は、特別損失（退職手当）の増等によるものである。

(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	当年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	22,854,537,423	0	22,854,537,423
自己資本金	556,955,147	0	556,955,147
借入資本金	22,297,582,276	0	22,297,582,276
剰余金	1,030,340,935	0	1,030,340,935
資本剰余金	10,285,386,887	0	10,285,386,887
欠損金	△ 9,255,045,952	0	△ 9,255,045,952

欠損金92億5,504万5,952円については、その全額を翌年度へ繰り越している。



(6) 財政状態

ア 貸借対照表

(単位：円)

科 目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
固 定 資 産	26,203,440,135	27,135,938,158	△ 932,498,023
流 動 資 産	7,136,323,881	3,894,551,864	3,241,772,017
繰 延 勘 定	668,270,391	713,126,183	△ 44,855,792
資 産 合 計	34,008,034,407	31,743,616,205	2,264,418,202
固 定 負 債	6,476,207,543	434,140,038	6,042,067,505
流 動 負 債	3,646,948,506	2,057,241,765	1,589,706,741
負 債 合 計	10,123,156,049	2,491,381,803	7,631,774,246
資 本 金	22,854,537,423	26,078,052,273	△ 3,223,514,850
剰 余 金	1,030,340,935	3,174,182,129	△ 2,143,841,194
資 本 合 計	23,884,878,358	29,252,234,402	△ 5,367,356,044
負 債 ・ 資 本 合 計	34,008,034,407	31,743,616,205	2,264,418,202

① 固定資産

決算額は262億344万135円で、前年度と比較して9億3,249万8,023円(3.4%)減少している。主な減少理由は、施設・設備の減価償却による。

② 流動資産

決算額は71億3,632万3,881円で、前年度と比較して32億4,177万2,017円(83.2%)増加している。主な増加理由は、現金預金の増による。

③ 繰延勘定

決算額は6億6,827万391円で、前年度と比較して4,485万5,792円(6.3%)減少している。減少理由は、繰延勘定の償却(費用化)による。

④ 固定負債

決算額は64億7,620万7,543円で、前年度と比較して60億4,206万7,505円(1391.7%)増加している。主な増加理由は、他会計借入金の増による。

⑤ 流動負債

決算額は36億4,694万8,506円で、前年度と比較して15億8,970万6,741円(77.3%)増加している。主な増加理由は、未払金の増による。

⑥ 資本金

決算額は228億5,453万7,423円で、前年度と比較して32億2,351万4,850円(12.4%)減少している。減少理由は、借入資本金(企業債)の減による。

⑦ 剰余金

決算額は10億3,034万935円で、前年度と比較して21億4,384万1,194円(67.5%)減少している。主な減少理由は、欠損金(純損失)の増による。

イ 財務にかかる経営分析

項目		H23	H22	(参考) H22全国 平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率(%)	4.7	11.8	30.1	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率(%)	86.3	91.4	85.4	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金})} \times 100$
	流動比率(%)	195.7	189.3	241.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率(回)	0.56	0.55	0.63	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$
	未収金回転率(回)	6.32	6.21	5.71	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$
収益	総資本経常利益率(%)	△ 3.2	△ 1.3	0.5	$\frac{\text{経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$
	経常収支比率(%)	94.5	97.7	100.9	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり 医業収益(千円)	12,119	12,365	15,566	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定職員数}} \times 100$

(注) 1 H22全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」の都道府県立病院の平均による。

2 総資本＝負債＋資本

① 自己資本構成比率

総資本に対する自己資本金と剰余金の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均に比べると比率は低くなっている。これは、主に分子を構成する自己資本金が全国の都道府県立病院と比べ少ないことによる。

② 固定資産対長期資本比率

固定資産が長期の資金で調達されている割合を示し、100%以下であることが望ましく、割合が低いほど財政の健全性が高いことを表す。平成23、22年度とも100%を下回っているが、全国平均より比率は高くなっている。これは、主に分母を構成する資本金（自己資本金）が全国の都道府県立病院と比べ少ないことによる。

③ 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全性が高いことを表す。平成23年度は22年度を6.4ポイント上回り、195.7%となっているが、全国平均より比率は低くなっている。ただし、資金運用目的で購入した国債が約2億円あり固定資産（投資）として計上されているので、これを勘案すると流動比率は201.2%となる。

④ 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均に比べると比率は低くなっている。これは、医師不足等による休床などで、一部の資産が有効に活用されていないことを示している。

⑤ 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均に比べると比率は高くなっている。

⑥ 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益をあげたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを示す。全国平均に比べると比率は低くなっており、平成23年度は22年度に比べ経常損益が大きく悪化しているため、22年度から1.9ポイント下がっている。

⑦ 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均に比べると比率は低くなっており、平成23年度は22年度に比べ経常収益が約8千万円減少したのに対し、経常費用は約5億6千万円増加したため、22年度から3.2ポイント下がっている。

⑧ 職員1人あたり医業収益

職員1人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど効率性が高いことを表す。ただし、精神科病院では、手術、検査等の医業収益がほとんど見込めないため、職員1人あたりの医業収益は低くなる。平成22年度データで、こころの医療センターを除く3病院の職員1人あたりの医業収益は13,005千円である。また、こころの医療センターと都道府県立で精神科を主体とする病院の職員1人あたりの医業収益を比較すると、こころの医療センターは9,868千円で都道府県立精神科病院平均の9,743千円を若干上回っている。

ウ キャッシュフロー計算書

(単位：円)

項 目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュフロー①	379,408,401	1,888,339,805	△ 1,508,931,404
投資活動によるキャッシュフロー②	△ 746,863,839	△ 1,232,902,060	486,038,221
財務活動によるキャッシュフロー③	3,623,879,097	538,904,129	3,084,974,968
現金・預金の増減額(①+②+③)	3,256,423,659	1,194,341,874	2,062,081,785
現金・預金の期首残高	1,431,863,366	237,521,492	1,194,341,874
現金・預金の期末残高	4,688,287,025	1,431,863,366	3,256,423,659

平成23年度は、企業債の繰上償還等により現金預金が減少したものの、病院間資金貸借解消等のための一般会計からの借入により、現金預金は32億5,642万3,659円のプラスとなり、年度末の現金預金残高は46億8,828万7,025円となっている。

(ア) 業務活動によるキャッシュフロー

病院事業本来の業務活動により、どれだけ現金預金の増減があったかを表す業務活動によるキャッシュフローは、3億7,940万8,401円のプラスとなった。前年度と比較して15億893万1,404円減少しているが、その主な要因は、退職手当の増や繰上償還補償金の増による。

(イ) 投資活動によるキャッシュフロー

固定資産の取得や投資有価証券の購入・売却などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す投資活動によるキャッシュフローは、7億4,686万3,839円のマイナスとなった。前年度と比較して4億8,603万8,221円増加しているが、その主な要因は、設備投資の減による。

(ウ) 財務活動によるキャッシュフロー

企業債の借入・償還や建設改良にかかる一般会計繰入金の受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す財務活動によるキャッシュフローは、36億2,387万9,097円のプラスとなった。前年度と比較して30億8,497万4,968円増加しているが、その主な要因は、病院間資金貸借解消等のための一般会計からの借入の増による。

第4 病院別の状況

1 総合医療センター

(1) 病院の概況

総合医療センターは、北勢地域の基幹病院として、高度医療、重篤救急患者の救命医療を提供するとともに、災害拠点病院、第二種感染症指定医療機関など、県の医療行政施策の支援機能を担っている。

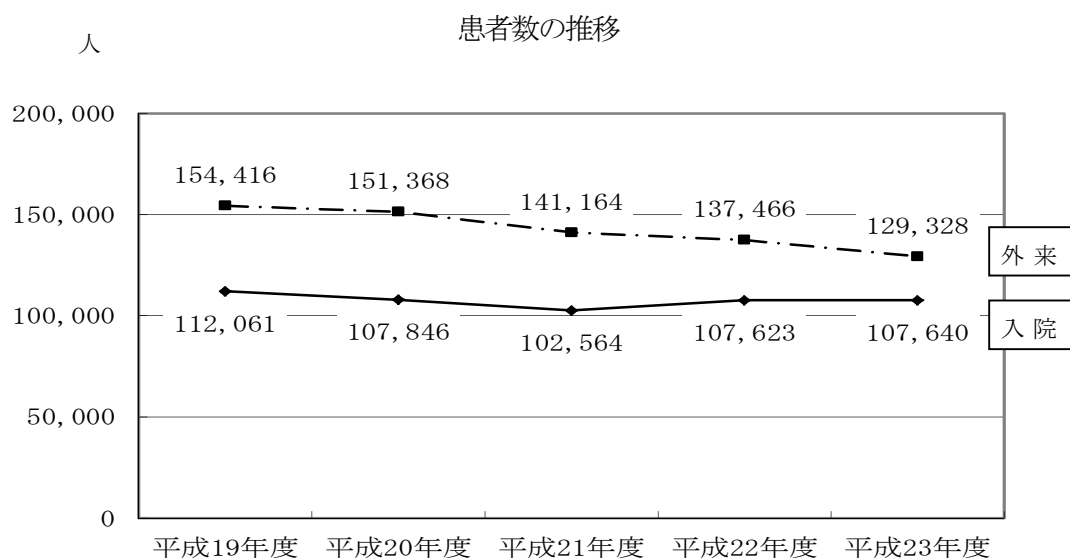
平成23年度は内科など19診療科において診療を行っており、許可病床数は446床であるが、うち90床が休床中であり、稼働病床数は356床となっている。

なお、平成24年度から地方独立行政法人化され、病院事業庁から分離し健康福祉部の所管となっている。

(2) 患者数の状況

平成23年度の延べ入院患者数は107,640人であり、前年度に比べ17人増加している。許可病床に対する病床利用率は65.9%であり、前年度に比べ0.2ポイント低下している。延べ外来患者数は129,328人であり、前年度に比べ8,138人減少している。

項目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	107,640	107,623	17
1日平均入院患者数 (人)	294	295	△ 1
延べ外来患者数 (人)	129,328	137,466	△ 8,138
1日平均外来患者数 (人)	530	566	△ 36
病床利用率 (休床含む) (%)	65.9	66.1	△ 0.2
病床利用率 (休床除く) (%)	87.0	88.8	△ 1.8
平均在院日数(一般病床のみ) (日)	12.6	12.1	0.5



(3) 経営成績

総収益は126億4,681万990円であり、前年度に比べ24億6,345万5,108円増加している。増加した主な理由は、資本剰余金の病院間貸借解消による特別利益の増による。

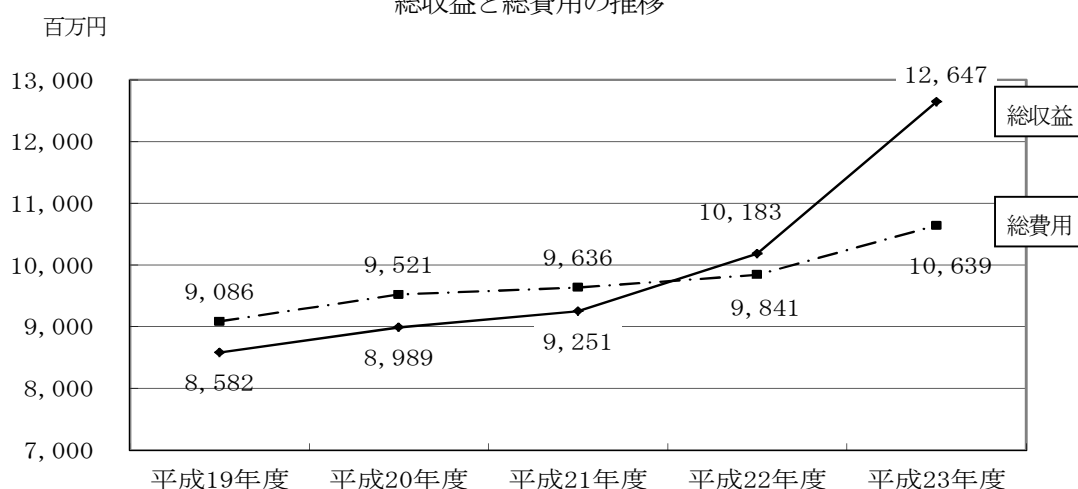
総費用は106億3,916万4,496円であり、前年度に比べ7億9,769万9,533円増加している。増加した主な理由は、特別損失（企業債償還補償金や退職給付金）の増による。

経常損益は1億1,846万9,662円の赤字、純損益は20億764万6,494円の黒字となり、前年度に比べ経常損益は4億6,739万9,581円収支が悪化し、純損益は16億6,575万5,575円黒字額が増加している。経常損益が悪化した主な理由は、給与費や資産減耗費の増による。

(単位：円)

科 目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	12,646,810,990	10,183,355,882	2,463,455,108	124.2%
医業収益	8,328,395,929	8,526,971,948	△ 198,576,019	97.7%
医業外収益	1,657,623,019	1,656,383,934	1,239,085	100.1%
特別利益	2,660,792,042	0	2,660,792,042	皆増
総費用	10,639,164,496	9,841,464,963	797,699,533	108.1%
医業費用	9,406,438,845	9,142,816,381	263,622,464	102.9%
医業外費用	698,049,765	691,609,582	6,440,183	100.9%
特別損失	534,675,886	7,039,000	527,636,886	7595.9%
経常損益	△ 118,469,662	348,929,919	△ 467,399,581	—
純損益	2,007,646,494	341,890,919	1,665,755,575	—

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との比較では、患者1人1日あたり入院・外来収益及び職員給与費対医業収益比率が平均を上回っており、1日平均入院・外来患者数、

経常収支比率、医業収支比率及び他会計繰入金対経常収益比率については、平均を下回っている。(三重県=23年度、全国平均=22年度での比較)

項 目	平成23年度	平成22年度	平成22年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	294	295	337	多いほどよい
1日平均外来患者数 (人)	530	566	844	多いほどよい
患者1人1日あたり入院収益 (円)	54,915	56,051	44,620	多いほどよい
患者1人1日あたり外来収益 (円)	17,200	16,773	11,090	多いほどよい
経常収支比率 (%)	98.8	103.5	100.8	高いほどよい
医業収支比率 (%)	93.1	97.7	95.3	高いほどよい
職員給与と費対医業収益比率 (%)	56.6	53.7	51.7	低いほどよい
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	17.5	16.7	11.2	低いほどよい

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による(400床以上500床未満の病院平均)。

2 経常収支比率=経常収益/経常費用 3 医業収支比率=医業収益/医業費用

4 職員給与と費対医業収益比率=職員給与と費/医業収益

5 他会計繰入金対経常収益比率=一般会計繰入金/経常収益

(5) 当面の運営方針(平成23年度)

当面の運営方針(平成23年度)による主な指標の目標達成状況は、以下のとおりである。

当面の運用方針		主な取組目標	H22実績	H23目標	H23実績
(1) 役割・機能の取組課題	① がん診療連携拠点病院に関すること	がん手術件数(件)	494	500	544
		化学療法患者数(人)	4,937	4,800	4,275
	② 救急医療に関すること	救命救急センター入院患者数(人)	4,503	5,000	4,340
		救急患者受入数(人)	14,374	14,000	14,510
	③ 脳卒中・心筋梗塞に関すること	PCI+冠動脈バイパス手術数(件)	217	220	153
		t-PA+脳血管手術数(件)	130	180	110
	④ 周産期医療に関すること ※	NICU(新生児特定集中治療室)利用延べ患者数(人)	771	830	965
	⑤ 地域医療連携の推進に関すること	紹介患者数(人)	5,747	6,000	6,120
		地域連携クリニカルパス件数(件)	160	160	151
		退院調整患者数(人)	734	750	726
⑥ 人材育成に関すること	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会の実施回数(回)	12	12	17	
	初期及び後期研修医数(人)	30	28	26	
	新規資格取得者数(人)	7	6	6	
(2) 収支改善の取組課題	① 病床稼働率の向上に関すること	看護実習生受入数(人)	4,223	3,600	4,396
		病床稼働率(%)	(88.8)	(93.1)	(87.0)
		クリニカルパス利用率(%)	66.1	69.3	65.9
			※病床稼働率上段は実稼働病床数(H22:332床、H23:332~356床)、下段は許可病床数446床ベースで計算		
	② 看護師の確保・定着に関すること	看護師定着率(%)	91.6	92.0	86.0
	③ 財務実績の改善に関すること	経常収支比率(%)	103.5	96.8	98.8
		職員給与と費対医業収益比率(%)	53.7	56.7	56.6
		医業収支比率	97.7	91.1	93.1

※ 周産期とは、妊娠22週から生後満7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性がある。周産期を含めた前後の期間における医療は、突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な体制が必要であることから、特に「周産期医療」と表現されている。

2 こころの医療センター

(1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、病棟の開放化、各種作業療法、デイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についても先駆的な治療を行い、県の精神医療の基幹病院としての役割を果たしている。

平成23年度は精神科など3診療科において診療を行っており、許可病床数は400床となっている。

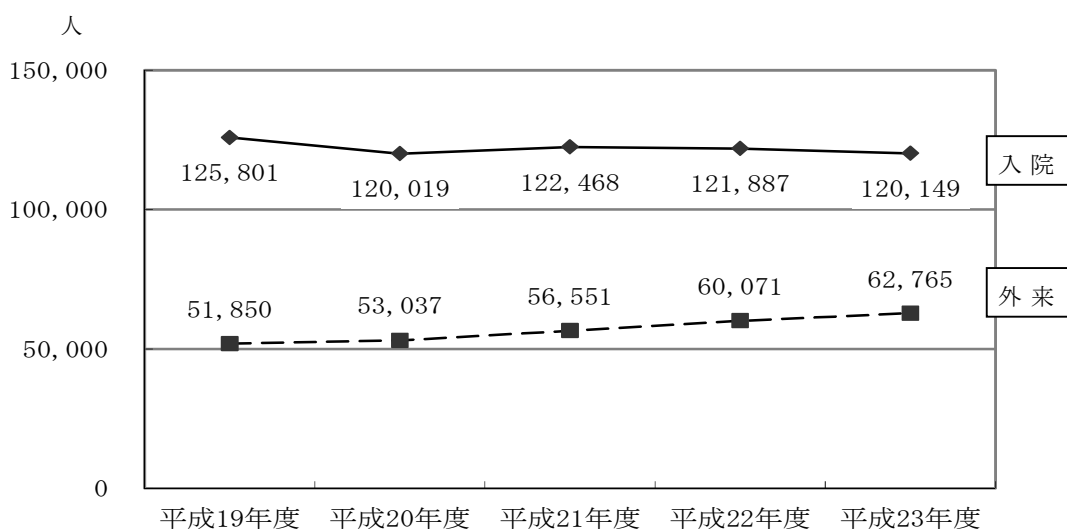
(2) 患者数の状況

平成23年度の延べ入院患者数は120,149人であり、前年度に比べ1,738人減少している。病床利用率は82.1%で、前年度に比べ1.4ポイント減少している。

延べ外来患者数は62,765人であり、前年度に比べ2,694人増加している。

項目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	120,149	121,887	△ 1,738
1日平均入院患者数 (人)	328	334	△ 6
延べ外来患者数 (人)	62,765	60,071	2,694
1日平均外来患者数 (人)	257	247	10
病床利用率 (%)	82.1	83.5	△ 1.4

患者数の推移



(3) 経営成績

総収益は34億3,005万222円であり、前年度に比べ5,569万7,547円増加している。増加した主な理由は、入院患者数は減少したものの、単価増により入院収益が増加したことによる。

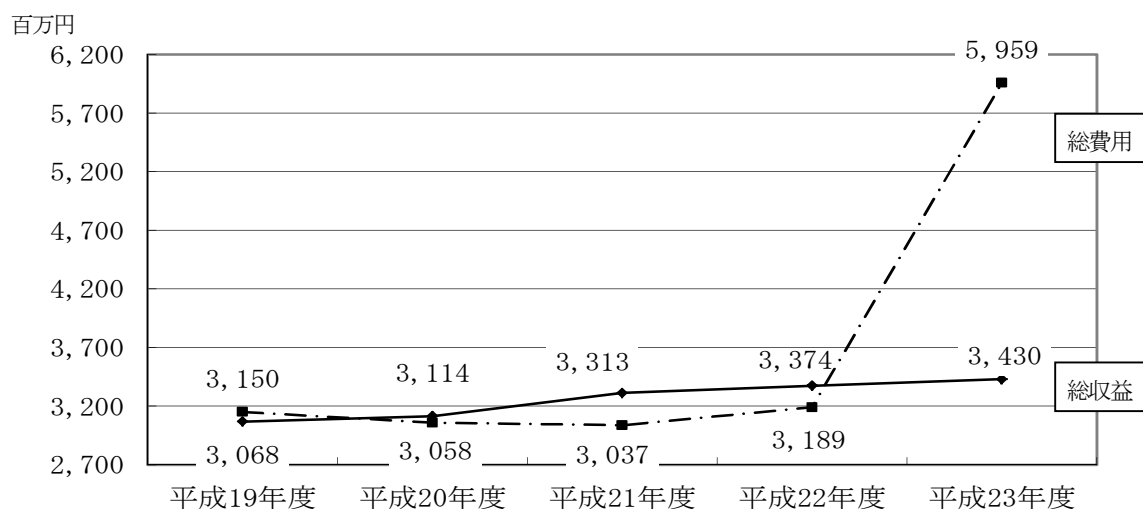
総費用は59億5,911万4,644円であり、前年度に比べ27億6,969万5,250円増加している。増加した主な理由は、特別損失の増による。

経常損益は2億6,102万7,807円の黒字、純損益は25億2,906万4,422円の赤字となり、前年度に比べ経常損益では2,818万4,474円の黒字額の減、純損益では27億1,399万7,703円収支が悪化している。経常損益が黒字であるのに対し、純損益が赤字となったのは、資本剰余金の病院間貸借解消による特別損失の増による。

(単位：円)

科 目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	3,430,050,222	3,374,352,675	55,697,547	101.7%
医業収益	2,456,049,123	2,344,536,404	111,512,719	104.8%
医業外収益	974,001,099	1,029,816,271	△ 55,815,172	94.6%
総費用	5,959,114,644	3,189,419,394	2,769,695,250	186.8%
医業費用	3,010,337,506	2,923,906,110	86,431,396	103.0%
医業外費用	158,684,909	161,234,284	△ 2,549,375	98.4%
特別損失	2,790,092,229	104,279,000	2,685,813,229	2675.6%
経常損益	261,027,807	289,212,281	△ 28,184,474	—
純損益	△ 2,529,064,422	184,933,281	△ 2,713,997,703	—

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

全国の精神科自治体病院との比較では、患者1人1日あたり外来収益を除き、すべての項目で平均を上回っている。(三重県=23年度、全国平均=22年度での比較)

項 目	平成23年度	平成22年度	平成22年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	328	334	204	多いほどよい
1日平均外来患者数 (人)	257	247	134	多いほどよい
患者1人1日あたり入院収益 (円)	17,172	16,175	16,262	多いほどよい
患者1人1日あたり外来収益 (円)	5,807	5,782	8,420	多いほどよい
経常収支比率 (%)	108.1	109.2	99.6	高いほどよい
医業収支比率 (%)	84.5	81.3	69.6	高いほどよい
職員給与費対医業収益比率 (%)	78.2	81.8	94.1	低いほどよい
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	28.5	30.5	34.5	低いほどよい

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による(精神科病院平均)。

2 経常収支比率=経常収益/経常費用

3 医業収支比率=医業収益/医業費用

4 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

5 他会計繰入金対経常収益比率=一般会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画（平成22～24年度）に基づく平成23年度年度計画

中期経営計画に基づく平成23年度年度計画による主な指標の目標達成状況は、以下のとおりである。

年度計画		主な取組目標	H22実績	H23目標	H23実績		
1 役割及び機能の充実に向けた取組	(1) 精神科医療の中核病院としての取組	① 病院機能の再編・見直しに関すること	病院機能の見直し・再編検討	検討開始	検討開始	検討開始	
		② 精神科救急・急性期医療の推進に関すること	精神科救急患者対応(人)	228	225	219	
			新規入院患者数の寛解率(%)	57.4	60.0	59.2	
			措置鑑定対応件数(件)	21	30	32	
	③ 三重県全体の医療水準の向上に寄与する研修機会の提供に関すること	臨床研修医受入数(人)	5	-	-		
		看護実習生受入数(人)	2,130	2,350	2,321		
		コメディカル実習受入数(人)	381	-	-		
	④ 人材確保・育成に関すること	人材育成研修開催数(回)	2	2	1		
	(2) 地域生活支援体制の充実に向けた取組	① 地域支援・社会復帰推進の体制整備に関すること	長期入院患者(5年超)退院数(件)	5	5	6	
		② 地域精神保健福祉の連携体制の強化に関すること	地域精神保健医療体制検討会設置	次年度課題	設置	未設置	
		③ 精神疾患・障がいにかかる普及啓発に関すること	こころしつとこセミナー件数(件)	28	25	26	
	(3) 高度・先進医療の取組	① アルコール依存症治療の取組に関すること	アルコール病棟入院患者数(人/日)	30.9	32.0	28.3	
		② 認知症治療の取組に関すること	認知症治療病棟入院患者数(人/日)	42.1	42.0	40.3	
③ 精神科早期介入・予防にかかる取組に関すること		早期介入対応件数(件)	59	60	150		
2 経営の健全化及び業務改善に向けた取組	(1) 経営の健全化の取組	① 健全経営を踏まえた病院機能の再編・見直しに関すること	経常収支比率(%)	109.2	107.8	108.1	
			職員給与費対医業収益比率(%)	81.7	82.0	78.2	
			医業収支比率	81.4	80.0	84.5	
	② 外来収益に関すること	外来患者数(人/日)	247.2	245.0	257.2		
	③ 入院収益に関すること	病床稼働率(%)	83.5	83.8	82.1		
	(2) 業務改善に向けた取組	① 患者や家族の視点に立った医療の提供に関すること	職員倫理研修の開催(回)	1	1	1	
			② 医療安全対策に関すること	医療安全研修参加率(%)	70.0	80.0	83.6
			③ 患者満足度向上に向けた取組に関すること	運営モニター開催(回)	2	1	1
④ 県立病院改革に関すること			主な取組目標の設定なし	-	-	-	

3 一志病院

(1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療、高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅医療支援を進め、健康診断や健康教室の開催など、予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者並びに地域住民の健康問題を幅広く担当する「家庭医療 ※」の実践に取り組んでいる。

平成22年4月から整形外科が休診となり、内科など3診療科において診療を行っている。許可病床数は平成24年4月より90床から86床に減床している。また、うち療養病床40床は休床中であり、稼働病床数は一般病床46床のみとなっている。

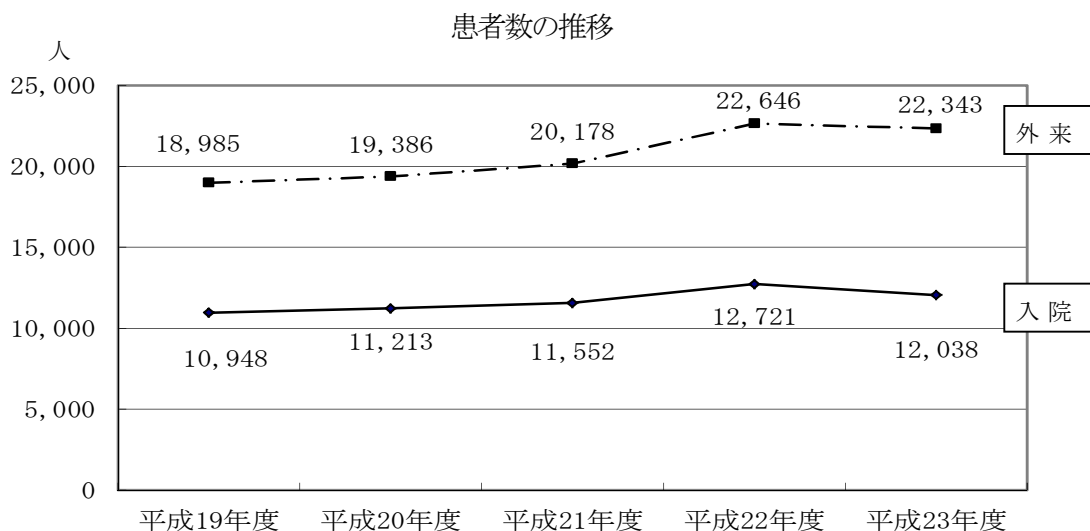
※ 家庭医療＝性別、年齢を問わず、身近な病気を中心に、けがや心の悩み、病気の予防や介護なども含めて患者の相談にのり、総合的に診療を行う医療のこと。また、家庭医療に専門的に従事する医師を家庭医又は総合医と言う。

(2) 患者数の状況

平成23年度の延べ入院患者数は12,038人であり、前年度に比べ683人減少している。許可病床に対する病床利用率は36.5%であり、また、休床中の療養病床を除く一般病床の利用率は71.5%で、前年度に比べ4.3ポイント低下している。

延べ外来患者数は22,343人であり、前年度に比べ303人減少している。

項目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	12,038	12,721	△ 683
1日平均入院患者数 (人)	33	35	△ 2
延べ外来患者数 (人)	22,343	22,646	△ 303
1日平均外来患者数 (人)	92	93	△ 2
病床利用率(休床含む) (%)	36.5	38.7	△ 2.2
病床利用率(休床除く) (%)	71.5	75.8	△ 4.3
平均在院日数(一般病床のみ) (日)	22.4	21.3	1.1



(3) 経営成績

総収益は8億4,538万742円であり、前年度に比べ840万586円増加している。増加した主な理由は、患者単価の増のため入院・外来収益が増加したことによる。

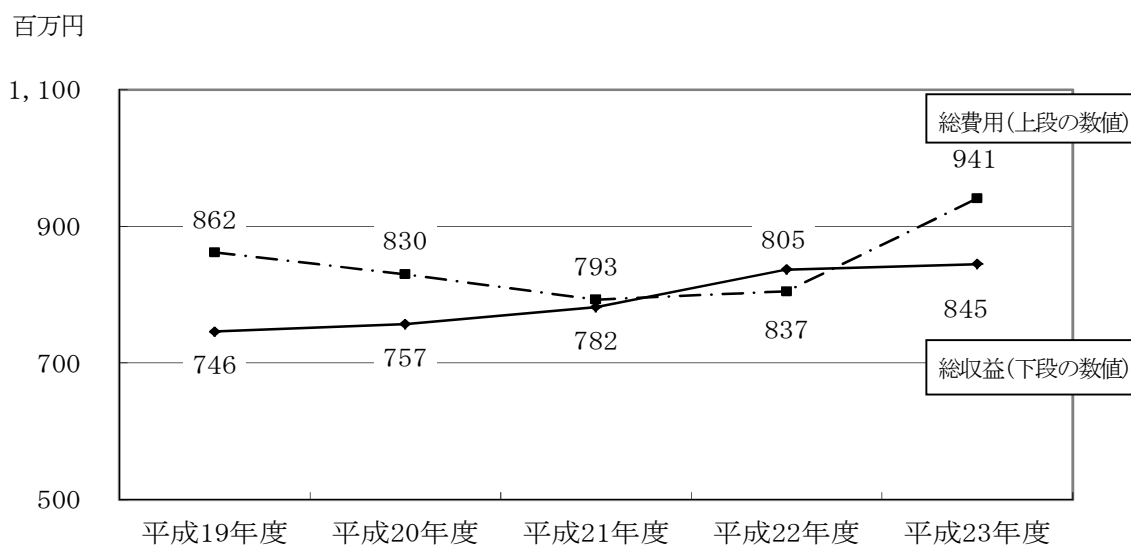
総費用は9億4,115万6,744円であり、前年度に比べ1億3,569万9,627円増加している。増加した主な理由は、特別損失の増による。

経常損益は2,441万6,716円の黒字、純損益は9,577万6,002円の赤字となり、前年度に比べ経常損益は2,050万2,323円黒字額が減少し、純損益は1億2,729万9,041円収支が悪化した。経常損益が黒字であるのに対し、純損益が赤字となったのは、資本剰余金の病院間貸借解消による特別損失の増による。

(単位：円)

科目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	845,380,742	836,980,156	8,400,586	101.0%
医業収益	542,539,032	528,712,088	13,826,944	102.6%
医業外収益	302,841,710	308,268,068	△ 5,426,358	98.2%
総費用	941,156,744	805,457,117	135,699,627	116.8%
医業費用	802,494,351	773,136,307	29,358,044	103.8%
医業外費用	18,469,675	18,924,810	△ 455,135	97.6%
特別損失	120,192,718	13,396,000	106,796,718	897.2%
経常損益	24,416,716	44,919,039	△ 20,502,323	—
純損益	△ 95,776,002	31,523,039	△ 127,299,041	—

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との比較では、患者1人1日あたり入院・外来収益、経常収支比率が平均を上回っているが、その他はすべて平均を下回っている。

(三重県=23年度、全国平均=22年度での比較)

項 目	平成23年度	平成22年度	平成22年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	33	35	51	多いほどよい
1日平均外来患者数 (人)	92	93	144	多いほどよい
患者1人1日あたり入院収益 (円)	25,354	23,808	21,075	多いほどよい
患者1人1日あたり外来収益 (円)	8,485	8,097	7,893	多いほどよい
経常収支比率 (%)	102.9	105.6	98.5	高いほどよい
医業収支比率 (%)	72.5	71.4	83.2	高いほどよい
職員給与費対医業収益比率 (%)	84.1	84.4	62.7	低いほどよい
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	36.2	36.7	21.5	低いほどよい

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による(50床以上100床未満の病院平均)。

2 経常収支比率=経常収益/経常費用

3 医業収支比率=医業収益/医業費用

4 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

5 他会計繰入金対経常収益比率=一般会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画（平成22～24年度）に基づく平成23年度年度計画

中期経営計画に基づく平成23年度年度計画による主な指標の目標達成状況は、以下のとおりである。

年度計画			主な取組目標	H22実績	H23目標	H23実績
1 役割及び機能の充実に 向けた取組	(1) 家庭医療を核とした地域医療 モデルの確立に向けた取組	① 様々な健康問題に対応できる医療サービス提供の取組に関する こと	1ヶ月当り常勤医師数(人)	5	5	5
			社協等との連絡会議等参加件数(回)	5	-	-
			診療所等からの紹介入院患者数(人)	150	162	171
		② 在宅療養を支援する医療サービス提供の取組に関する こと	訪問診療等延患者数(人)	988	1,000	2,411
		③ 一次救急医療の取組に関する こと	一次救急患者(救急車除く)受入件数(件)	765	825	626
	④ 予防医療の取組に関する こと	健康教室・糖尿病教室延参加人数(人)	480	520	344	
		予防医療(健康診断等)受診件数(件)	1,720	1,700	1,340	
	(2) 地域医療を担う 人材育成の取組	① 家庭医育成の取組に関する こと	1ヶ月当り研修医受入人数(人)	2.25	2.25	3.63
		② 看護師等育成支援の取組に 関すること	看護実習生等受入数(人)	32	26	27
		③ 医療従事者の能力向上に 向けた取組に関する こと	院外研修参加者割合(%)	59.5	72.5	69.8
2 経営の健全化及び業務改善に 向けた取組	(1) 経営の健全化にかかる取組	① 収支改善の取組に関する こと	経常収支比率(%)	105.6	99.1	102.9
			職員給与費対医業収益比率(%)	84.4	86.8	84.1
			一般病床稼働率(%)	75.8	73.9	71.5
			内科(家庭医療)外来患者数 (人/日) (予防医療受診者を含む)	98	101	101
			医業収支比率	71.4	69.6	72.5
			※病床稼働率は実稼働病床数46床ベースで計算(許可病床数は90床)			
	② 病院施設基準の維持、向上に 向けた取組に関する こと	新規基準、上位基準転換数	1	1	2	
		平均在院日数 (日) (亜急性期除く)	21.2	24以内	22.4	
	(2) 業務改善に 向けた取組	① 医療総合情報システムの導入 に向けた取組に関する こと	主な取組目標の設定なし	-	-	-
		② 患者満足度向上に向けた取組 に関する こと	患者満足度(%)	80.6	81.5	81.8
③ 県立病院改革に関する こと		主な取組目標の設定なし	-	-	-	

4 志摩病院

(1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核的病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療、災害医療の中心的な役割、及びへき地医療拠点病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神科病床を併せ持つ総合病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

平成23年度は、内科など14診療科において診療を行っており、許可病床数は350床であるが、24年3月31日現在、一般病床118床が休床中であり、稼働病床数は232床となっている。

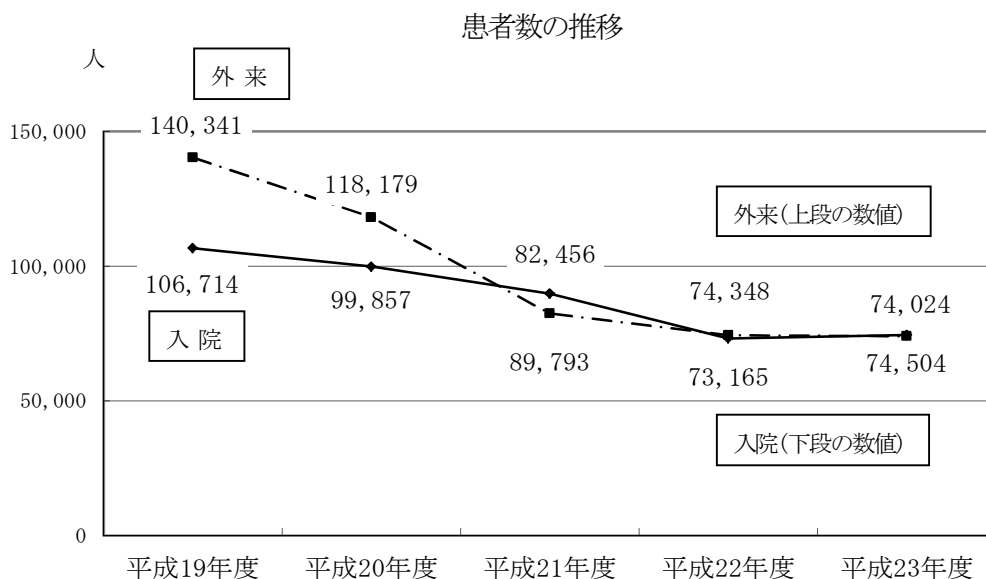
なお、平成24年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者により運営されている。

(2) 患者数の状況

平成23年度の延べ入院患者数は74,504人であり、前年度に比べ1,339人増加している。許可病床に対する病床利用率は58.2%であり、前年度に比べ0.9ポイント上昇している。

延べ外来患者数は74,024人であり、前年度に比べ324人減少している。

項目	平成23年度(A)	平成22年度(B)	増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	74,504	73,165	1,339
1日平均入院患者数 (人)	204	200	4
延べ外来患者数 (人)	74,024	74,348	△ 324
1日平均外来患者数 (人)	303	306	△ 3
病床利用率 (休床含む) (%)	58.2	57.3	0.9
病床利用率 (休床除く) (%)	87.7	90.6	△ 2.9
平均在院日数(一般病床のみ) (日)	19.3	21.2	△ 1.9



(3) 経営成績

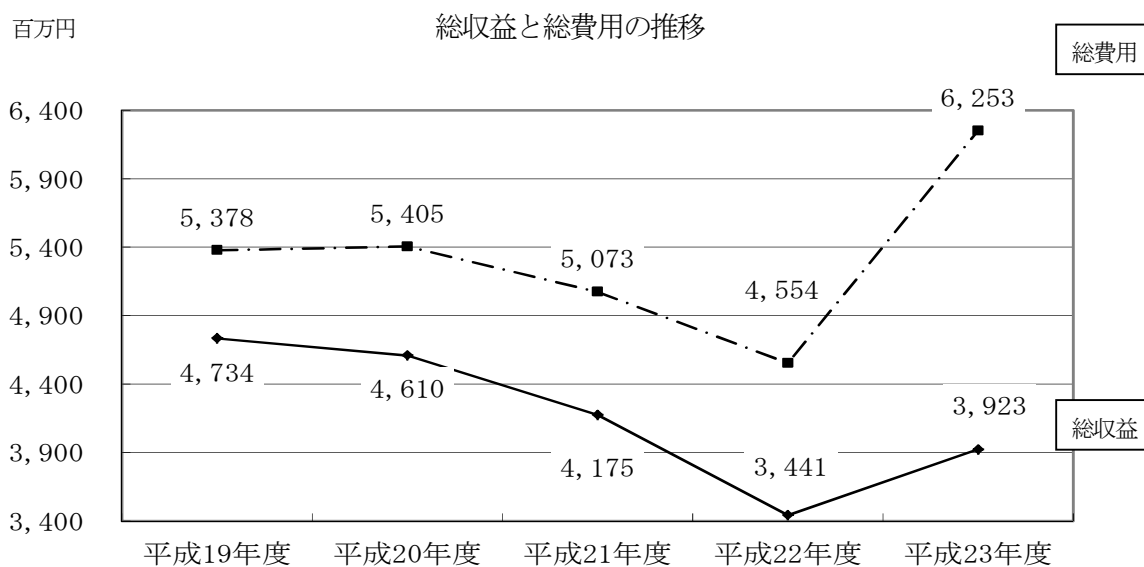
総収益は39億2,349万33円であり、前年度に比べ4億8,258万943円増加している。増加した主な理由は、特別利益（退職手当特例措置分の繰入金）の増による。

総費用は62億5,330万5,060円であり、前年度に比べ16億9,921万3,125円増加している。増加した主な理由は、特別損失（退職給与引当金）の増による。

経常損益は12億2,473万4,949円、純損益は23億2,981万5,027円の赤字となり、前年度に比べ経常損益は1億2,174万2,104円、純損益は12億1,663万2,182円赤字額が増加している。経常損益が悪化した主な理由は、入院収益が減少するとともに、修繕費、報償費が増加したことによる。また、純損益が悪化した主な理由は、特別利益が増加した一方で、特別損失が大きく増加したことによる。

(単位：円)

科 目	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	3,923,490,033	3,440,909,090	482,580,943	114.0%
医業収益	2,592,730,997	2,628,550,354	△ 35,819,357	98.6%
医業外収益	815,247,131	812,358,736	2,888,395	100.4%
特別利益	515,511,905	0	515,511,905	皆増
総費用	6,253,305,060	4,554,091,935	1,699,213,125	137.3%
医業費用	4,436,806,724	4,352,871,900	83,934,824	101.9%
医業外費用	195,906,353	191,030,035	4,876,318	102.6%
特別損失	1,620,591,983	10,190,000	1,610,401,983	15903.7%
経常損益	△ 1,224,734,949	△ 1,102,992,845	△ 121,742,104	111.0%
純損益	△ 2,329,815,027	△ 1,113,182,845	△ 1,216,632,182	209.3%



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との比較では、患者1人1日あたり外来収益を除き、平均を下回っている。(三重県=23年度、全国平均=22年度での比較)

項目	平成23年度	平成22年度	平成22年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	204	200	239	多いほどよい
1日平均外来患者数 (人)	303	306	580	多いほどよい
患者1人1日あたり入院収益 (円)	22,976	24,194	42,221	多いほどよい
患者1人1日あたり外来収益 (円)	11,104	10,840	10,739	多いほどよい
経常収支比率 (%)	74.1	76.1	98.1	高いほどよい
医業収支比率 (%)	62.5	63.6	91.4	高いほどよい
職員給与費対医業収益比率 (%)	86.9	89.9	53.8	低いほどよい
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	23.6	22.6	12.6	低いほどよい

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による(300床以上400床未満の病院平均)。

2 経常収支比率=経常収益/経常費用 3 医業収支比率=医業収益/医業費用

4 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

5 他会計繰入金対経常収益比率=一般会計繰入金/経常収益

(5) 当面の運営方針(平成23年度)

当面の運営方針(平成23年度)による主な指標の目標達成状況は、以下のとおりである。

当面の運営方針		主な取組目標	H22実績	H23目標	H23実績
1 役割及び機能の充実に向けた取組	① 救急医療の提供に関すること	救急患者数	3,753	3,600	3,921
		上記のうち入院患者数	770	720	1,000
	② へき地医療の推進に関すること	代診医派遣応需率(%)	100	100	100
	③ 災害における医療の提供に関すること	災害訓練実施回数(回)	2	2	2
	④ 地域連携の推進に関すること	紹介患者数(人)	4,654	4,500	5,160
		逆紹介患者数(人)	3,829	3,400	4,165
	⑤ 研修医等の育成に関すること	臨床研修医数(人)	2	2	1
	⑥ 精神科医療の充実に関すること	病床稼働率(精神)(%)	93.7	96.0	91.8
		こころの外来患者数(人/日)	33.6	33.0	37.0
	⑦ 地域のニーズ(産婦人科)に応える取組に関すること	助産師外来指導・相談件数(件/日)	70.0	70.0	58.0
		パパ・ママ教室等の開催数(回)	16	12	13
	① 病床稼働率の向上に関すること	病床稼働率(一般)(%)	(88.0)	(77.3)	(84.7)
			42.7	40.8	44.7
		病床稼働率(精神)(%)	93.7	96.0	91.8
※病床稼働率(一般) 上段は実稼働病床数(H22:140~115床、H23:132床)、下段は許可病床数250床をベースに算定					
② 経営の健全化に関すること	経常収支比率(%)	76.1	71.0	74.1	
	職員給与費対医業収益比率(%)	89.9	95.4	86.9	
	医業収支比率	63.6	59.2	62.5	

第5 決算諸表

1 損益計算書

比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	13,919,715,081	14,028,770,794	△ 109,055,713	99.2%
入院収益	9,991,298,210	10,076,931,704	△ 85,633,494	99.2%
外来収益	3,600,479,301	3,642,330,569	△ 41,851,268	98.9%
その他医業収益	327,937,570	309,508,521	18,429,049	106.0%
医業費用	18,018,309,115	17,464,874,559	553,434,556	103.2%
給与費	10,055,630,545	9,849,359,977	206,270,568	102.1%
材料費	3,212,942,514	3,301,770,531	△ 88,828,017	97.3%
経 費	3,209,064,093	2,892,669,097	316,394,996	110.9%
減価償却費	1,226,588,653	1,334,943,816	△ 108,355,163	91.9%
資産減耗費	255,716,807	26,348,650	229,368,157	970.5%
研究研修費	58,366,503	59,782,488	△ 1,415,985	97.6%
医業損益	△ 4,098,594,034	△ 3,436,103,765	△ 662,490,269	119.3%
医業外収益	4,113,825,747	4,080,929,416	32,896,331	100.8%
受取利息配当金	6,963,940	8,953,971	△ 1,990,031	77.8%
他会計補助金	784,249,000	757,893,000	26,356,000	103.5%
補助金	32,601,000	34,423,000	△ 1,822,000	94.7%
負担金	3,131,593,000	3,118,163,213	13,429,787	100.4%
その他医業外収益	158,418,807	161,496,232	△ 3,077,425	98.1%
医業外費用	1,072,991,801	1,064,757,257	8,234,544	100.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	614,260,430	641,111,734	△ 26,851,304	95.8%
患者外給食材料費	1,831,637	2,469,812	△ 638,175	74.2%
繰延勘定償却	85,157,834	83,295,349	1,862,485	102.2%
雑損失	371,741,900	337,880,362	33,861,538	110.0%
経常損益	△ 1,057,760,088	△ 419,931,606	△ 637,828,482	251.9%
特別利益	3,176,303,947	0	3,176,303,947	皆増
その他特別利益	3,176,303,947	0	3,176,303,947	皆増
特別損失	5,065,552,816	134,904,000	4,930,648,816	3754.9%
その他特別損失	5,065,552,816	134,904,000	4,930,648,816	3754.9%
当年度純損益	△ 2,947,008,957	△ 554,835,606	△ 2,392,173,351	531.1%
前年度繰越欠損金	6,308,036,995	5,753,201,389	554,835,606	109.6%
当年度未処理欠損金	9,255,045,952	6,308,036,995	2,947,008,957	146.7%

（注）本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（総合医療センター）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	8,328,395,929	8,526,971,948	△ 198,576,019	97.7%
入院収益	5,911,067,136	6,032,392,375	△ 121,325,239	98.0%
外来収益	2,224,459,239	2,305,687,137	△ 81,227,898	96.5%
その他医業収益	192,869,554	188,892,436	3,977,118	102.1%
医業費用	9,406,438,845	9,142,816,381	263,622,464	102.9%
給与費	4,909,993,242	4,742,277,756	167,715,486	103.5%
材料費	2,306,883,792	2,355,602,779	△ 48,718,987	97.9%
経 費	1,357,137,716	1,344,653,795	12,483,921	100.9%
減価償却費	572,525,578	648,081,940	△ 75,556,362	88.3%
資産減耗費	228,597,871	21,200,456	207,397,415	1078.3%
研究研修費	31,300,646	30,999,655	300,991	101.0%
医業損益	△ 1,078,042,916	△ 615,844,433	△ 462,198,483	175.1%
医業外収益	1,657,623,019	1,656,383,934	1,239,085	100.1%
受取利息配当金	-	-	-	-
他会計補助金	346,683,000	331,126,000	15,557,000	104.7%
補助金	26,912,000	27,872,000	△ 960,000	96.6%
負担金	1,245,939,000	1,255,452,773	△ 9,513,773	99.2%
その他医業外収益	38,089,019	41,933,161	△ 3,844,142	90.8%
医業外費用	698,049,765	691,609,582	6,440,183	100.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	431,771,233	450,282,507	△ 18,511,274	95.9%
患者外給食材料費	919,123	1,034,723	△ 115,600	88.8%
繰延勘定償却	44,457,673	42,119,746	2,337,927	105.6%
雑損失	220,901,736	198,172,606	22,729,130	111.5%
経常損益	△ 118,469,662	348,929,919	△ 467,399,581	-
特別利益	2,660,792,042	0	2,660,792,042	皆増
その他特別利益	2,660,792,042	0	2,660,792,042	皆増
特別損失	534,675,886	7,039,000	527,636,886	7595.9%
その他特別損失	534,675,886	7,039,000	527,636,886	7595.9%
当年度純損益	2,007,646,494	341,890,919	1,665,755,575	587.2%
前年度繰越欠損金	2,231,654,435	2,573,545,354	△ 341,890,919	86.7%
当年度未処理欠損金	224,007,941	2,231,654,435	△ 2,007,646,494	10.0%

（注）本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,456,049,123	2,344,536,404	111,512,719	104.8%
入院収益	2,063,178,677	1,971,504,464	91,674,213	104.6%
外来収益	364,488,113	347,334,465	17,153,648	104.9%
その他医業収益	28,382,333	25,697,475	2,684,858	110.4%
医業費用	3,010,337,506	2,923,906,110	86,431,396	103.0%
給与費	1,982,460,327	1,933,887,935	48,572,392	102.5%
材料費	202,822,212	206,541,706	△ 3,719,494	98.2%
経 費	509,555,929	472,612,117	36,943,812	107.8%
減価償却費	292,618,050	300,367,510	△ 7,749,460	97.4%
資産減耗費	15,558,675	2,005,599	13,553,076	775.8%
研究研修費	7,322,313	8,491,243	△ 1,168,930	86.2%
医業損益	△ 554,288,383	△ 579,369,706	25,081,323	95.7%
医業外収益	974,001,099	1,029,816,271	△ 55,815,172	94.6%
受取利息配当金	-	-	-	-
他会計補助金	145,477,000	139,992,000	5,485,000	103.9%
補助金	3,813,000	1,749,000	2,064,000	218.0%
負担金	788,530,000	857,074,329	△ 68,544,329	92.0%
その他医業外収益	36,181,099	31,000,942	5,180,157	116.7%
医業外費用	158,684,909	161,234,284	△ 2,549,375	98.4%
支払利息及び企業債取扱諸費	89,413,790	93,248,317	△ 3,834,527	95.9%
患者外給食材料費	912,514	1,435,089	△ 522,575	63.6%
繰延勘定償却	24,215,454	23,983,728	231,726	101.0%
雑損失	44,143,151	42,567,150	1,576,001	103.7%
経常損益	261,027,807	289,212,281	△ 28,184,474	90.3%
特別利益	-	-	-	-
その他特別利益	-	-	-	-
特別損失	2,790,092,229	104,279,000	2,685,813,229	2675.6%
その他特別損失	2,790,092,229	104,279,000	2,685,813,229	2675.6%
当年度純損益	△ 2,529,064,422	184,933,281	△ 2,713,997,703	-
前年度繰越利益剰余金	195,379,785	10,446,504	184,933,281	1870.3%
当年度未処理欠損金	2,333,684,637	△ 195,379,785	2,529,064,422	-

（注）1 本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成22年度の当年度未処利欠損金のマイナスは、未処分利益剰余金があることを表す。

比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	542,539,032	528,712,088	13,826,944	102.6%
入院収益	305,216,047	302,861,303	2,354,744	100.8%
外来収益	189,572,352	183,367,072	6,205,280	103.4%
その他医業収益	47,750,633	42,483,713	5,266,920	112.4%
医業費用	802,494,351	773,136,307	29,358,044	103.8%
給与費	486,009,903	462,237,016	23,772,887	105.1%
材料費	98,003,131	96,790,195	1,212,936	101.3%
経 費	164,823,005	160,518,562	4,304,443	102.7%
減価償却費	49,227,987	52,092,182	△ 2,864,195	94.5%
資産減耗費	2,748,292	574,737	2,173,555	478.2%
研究研修費	1,682,033	923,615	758,418	182.1%
医業損益	△ 259,955,319	△ 244,424,219	△ 15,531,100	106.4%
医業外収益	302,841,710	308,268,068	△ 5,426,358	98.2%
受取利息配当金	-	-	-	-
他会計補助金	34,344,000	31,157,000	3,187,000	110.2%
補助金	0	220,000	△ 220,000	皆減
負担金	262,036,000	268,836,000	△ 6,800,000	97.5%
その他医業外収益	6,461,710	8,055,068	△ 1,593,358	80.2%
医業外費用	18,469,675	18,924,810	△ 455,135	97.6%
支払利息及び企業債取扱諸費	4,715,966	5,535,010	△ 819,044	85.2%
患者外給食材料費	-	-	-	-
繰延勘定償却	2,154,186	2,135,579	18,607	100.9%
雑損失	11,599,523	11,254,221	345,302	103.1%
経常損益	24,416,716	44,919,039	△ 20,502,323	54.4%
特別利益	-	-	-	-
その他特別利益	-	-	-	-
特別損失	120,192,718	13,396,000	106,796,718	897.2%
その他特別損失	120,192,718	13,396,000	106,796,718	897.2%
当年度純損益	△ 95,776,002	31,523,039	△ 127,299,041	-
前年度繰越欠損金	603,902,647	635,425,686	△ 31,523,039	95.0%
当年度未処理欠損金	699,678,649	603,902,647	95,776,002	115.9%

（注）本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,592,730,997	2,628,550,354	△ 35,819,357	98.6%
入院収益	1,711,836,350	1,770,173,562	△ 58,337,212	96.7%
外来収益	821,959,597	805,941,895	16,017,702	102.0%
その他医業収益	58,935,050	52,434,897	6,500,153	112.4%
医業費用	4,436,806,724	4,352,871,900	83,934,824	101.9%
給与費	2,388,518,114	2,469,009,277	△ 80,491,163	96.7%
材料費	605,233,379	642,835,851	△ 37,602,472	94.2%
経 費	1,109,772,467	891,748,166	218,024,301	124.4%
減価償却費	309,212,317	331,306,534	△ 22,094,217	93.3%
資産減耗費	8,675,957	2,567,858	6,108,099	337.9%
研究研修費	15,394,490	15,404,214	△ 9,724	99.9%
医業損益	△ 1,844,075,727	△ 1,724,321,546	△ 119,754,181	106.9%
医業外収益	815,247,131	812,358,736	2,888,395	100.4%
受取利息配当金	-	-	-	-
他会計補助金	170,353,000	176,049,000	△ 5,696,000	96.8%
補助金	1,876,000	4,582,000	△ 2,706,000	40.9%
負担金	565,417,000	551,484,511	13,932,489	102.5%
その他医業外収益	77,601,131	80,243,225	△ 2,642,094	96.7%
医業外費用	195,906,353	191,030,035	4,876,318	102.6%
支払利息及び企業債取扱諸費	88,173,203	91,759,943	△ 3,586,740	96.1%
患者外給食材料費	-	-	-	-
繰延勘定償却	14,246,322	14,979,825	△ 733,503	95.1%
雑損失	93,486,828	84,290,267	9,196,561	110.9%
経常損益	△ 1,224,734,949	△ 1,102,992,845	△ 121,742,104	111.0%
特別利益	515,511,905	0	515,511,905	皆増
その他特別利益	515,511,905	0	515,511,905	皆増
特別損失	1,620,591,983	10,190,000	1,610,401,983	15903.7%
その他特別損失	1,620,591,983	10,190,000	1,610,401,983	15903.7%
当年度純損益	△ 2,329,815,027	△ 1,113,182,845	△ 1,216,632,182	209.3%
前年度繰越欠損金	3,667,859,698	2,554,676,853	1,113,182,845	143.6%
当年度未処理欠損金	5,997,674,725	3,667,859,698	2,329,815,027	163.5%

（注）本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（県立病院経営室）

（単位：円）

科 目	平成23年度	平成22年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	-	-	-	-
医業費用	362,231,689	272,143,861	90,087,828	133.1%
給与費	288,648,959	241,947,993	46,700,966	119.3%
材料費	-	-	-	-
経 費	67,774,976	23,136,457	44,638,519	292.9%
減価償却費	3,004,721	3,095,650	△ 90,929	97.1%
資産減耗費	136,012	-	136,012	皆増
研究研修費	2,667,021	3,963,761	△ 1,296,740	67.3%
医業損益	△ 362,231,689	△ 272,143,861	△ 90,087,828	133.1%
医業外収益	364,112,788	274,102,407	90,010,381	132.8%
受取利息配当金	6,963,940	8,953,971	△ 1,990,031	77.8%
他会計補助金	87,392,000	79,569,000	7,823,000	109.8%
補助金	-	-	-	-
負担金	269,671,000	185,315,600	84,355,400	145.5%
その他医業外収益	85,848	263,836	△ 177,988	32.5%
医業外費用	1,881,099	1,958,546	△ 77,447	96.0%
支払利息及び企業債取扱諸費	186,238	285,957	△ 99,719	65.1%
患者外給食材料費	-	-	-	-
繰延勘定償却	84,199	76,471	7,728	110.1%
雑損失	1,610,662	1,596,118	14,544	100.9%
経常損益	0	0	0	-
当年度純損益	0	0	0	-
前年度繰越欠損金	-	-	-	-
当年度未処理欠損金	-	-	-	-

（注）本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

2 貸借対照表

比較貸借対照表（病院事業全体）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	26,203,440,135	77.1%	27,135,938,158	85.5%	△ 932,498,023	96.6%
有形固定資産	25,907,828,735	76.2%	26,735,558,535	84.2%	△ 827,729,800	96.9%
土地	3,685,051,272	10.8%	3,685,051,272	11.6%	0	100.0%
建物	17,414,418,839	51.2%	18,420,569,142	58.0%	△ 1,006,150,303	94.5%
構築物	1,086,183,077	3.2%	1,010,313,472	3.2%	75,869,605	107.5%
器械備品	3,682,700,766	10.8%	2,914,741,621	9.2%	767,959,145	126.3%
車両	1,793,828	0.0%	1,793,828	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	37,680,953	0.1%	703,089,200	2.2%	△ 665,408,247	5.4%
無形固定資産	5,433,627	0.0%	6,329,151	0.0%	△ 895,524	85.9%
電話加入権	3,407,889	0.0%	3,407,889	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	2,025,738	0.0%	2,921,262	0.0%	△ 895,524	69.3%
投資等	290,177,773	0.9%	394,050,472	1.2%	△ 103,872,699	73.6%
投資有価証券	200,235,273	0.6%	300,450,472	0.9%	△ 100,215,199	66.6%
長期貸付金	89,942,500	0.3%	93,600,000	0.3%	△ 3,657,500	96.1%
流動資産	7,136,323,881	21.0%	3,894,551,864	12.3%	3,241,772,017	183.2%
現金預金	4,688,287,025	13.8%	1,431,863,366	4.5%	3,256,423,659	327.4%
未収金	2,340,680,740	6.9%	2,389,472,322	7.5%	△ 48,791,582	98.0%
貯蔵品	104,315,014	0.3%	70,083,556	0.2%	34,231,458	148.8%
前払金	41,102	0.0%	132,620	0.0%	△ 91,518	31.0%
その他流動資産	3,000,000	0.0%	3,000,000	0.0%	0	100.0%
繰延勘定	668,270,391	2.0%	713,126,183	2.2%	△ 44,855,792	93.7%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	668,270,391	2.0%	713,126,183	2.2%	△ 44,855,792	93.7%
資産合計	34,008,034,407	100.0%	31,743,616,205	100.0%	2,264,418,202	107.1%
固定負債	6,476,207,543	19.0%	434,140,038	1.4%	6,042,067,505	1491.7%
企業債	1,359,500,000	4.0%	0	0.0%	1,359,500,000	皆増
他会計借入金	4,714,174,000	13.9%	0	0.0%	4,714,174,000	皆増
引当金	402,533,543	1.2%	434,140,038	1.4%	△ 31,606,495	92.7%
流動負債	3,646,948,506	10.7%	2,057,241,765	6.5%	1,589,706,741	177.3%
未払金	3,605,043,667	10.6%	2,032,957,169	6.4%	1,572,086,498	177.3%
未払消費税及び 地方消費税	4,874,400	0.0%	1,468,100	0.0%	3,406,300	332.0%
前受金	8,612,690	0.0%	9,994,990	0.0%	△ 1,382,300	86.2%
その他流動負債	28,417,749	0.1%	12,821,506	0.0%	15,596,243	221.6%
負債合計	10,123,156,049	29.8%	2,491,381,803	7.8%	7,631,774,246	406.3%
資本金	22,854,537,423	67.2%	26,078,052,273	82.2%	△ 3,223,514,850	87.6%
自己資本金	556,955,147	1.6%	556,955,147	1.8%	0	100.0%
借入資本金	22,297,582,276	65.6%	25,521,097,126	80.4%	△ 3,223,514,850	87.4%
剰余金	1,030,340,935	3.0%	3,174,182,129	10.0%	△ 2,143,841,194	32.5%
資本剰余金	10,285,386,887	30.2%	9,482,219,124	29.9%	803,167,763	108.5%
欠損金	9,255,045,952	△27.2%	6,308,036,995	△19.9%	2,947,008,957	146.7%
資本合計	23,884,878,358	70.2%	29,252,234,402	92.2%	△ 5,367,356,044	81.7%
負債・資本合計	34,008,034,407	100.0%	31,743,616,205	100.0%	2,264,418,202	107.1%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（総合医療センター）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	13,930,527,747	78.0%	18,806,698,145	87.9%	△ 4,876,170,398	74.1%
有形固定資産	13,929,418,747	78.0%	14,346,830,717	67.1%	△ 417,411,970	97.1%
土地	3,194,385,999	17.9%	3,194,385,999	14.9%	0	100.0%
建物	7,854,009,227	44.0%	8,385,569,097	39.2%	△ 531,559,870	93.7%
構築物	488,553,080	2.7%	387,753,715	1.8%	100,799,365	126.0%
器械備品	2,354,511,690	13.2%	1,675,754,908	7.8%	678,756,782	140.5%
車両	277,798	0.0%	277,798	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	37,680,953	0.2%	703,089,200	3.3%	△ 665,408,247	5.4%
無形固定資産	1,109,000	0.0%	1,109,000	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,109,000	0.0%	1,109,000	0.0%	0	100.0%
投資等	-	-	4,458,758,428	20.8%	△ 4,458,758,428	皆減
本部貸付金	-	-	4,458,758,428	20.8%	△ 4,458,758,428	皆減
流動資産	3,652,109,545	20.4%	2,275,572,893	10.6%	1,376,536,652	160.5%
現金預金	2,284,596,898	12.8%	854,101,618	4.0%	1,430,495,280	267.5%
未収金	1,322,817,536	7.4%	1,373,493,989	6.4%	△ 50,676,453	96.3%
貯蔵品	44,695,111	0.3%	47,977,286	0.2%	△ 3,282,175	93.2%
繰延勘定	284,098,272	1.6%	303,813,735	1.4%	△ 19,715,463	93.5%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	284,098,272	1.6%	303,813,735	1.4%	△ 19,715,463	93.5%
資産合計	17,866,735,564	100.0%	21,386,084,773	100.0%	△ 3,519,349,209	83.5%
固定負債	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
流動負債	932,928,202	5.2%	1,424,775,734	6.7%	△ 491,847,532	65.5%
未払金	908,661,841	5.1%	1,411,107,784	6.6%	△ 502,445,943	64.4%
未払消費税及び 地方消費税	2,739,771	0.0%	805,500	0.0%	1,934,271	340.1%
前受金	8,566,050	0.0%	9,545,870	0.0%	△ 979,820	89.7%
その他流動負債	12,960,540	0.1%	3,316,580	0.0%	9,643,960	390.8%
負債合計	932,928,202	5.2%	1,424,775,734	6.7%	△ 491,847,532	65.5%
資本金	11,000,918,084	61.6%	13,777,359,216	64.4%	△ 2,776,441,132	79.8%
自己資本金	245,545,369	1.4%	245,545,369	1.1%	0	100.0%
借入資本金	10,755,372,715	60.2%	13,531,813,847	63.3%	△ 2,776,441,132	79.5%
剰余金	5,932,889,278	33.2%	6,183,949,823	28.9%	△ 251,060,545	95.9%
資本剰余金	6,156,897,219	34.5%	8,415,604,258	39.4%	△ 2,258,707,039	73.2%
欠損金	224,007,941	△1.3%	2,231,654,435	△10.4%	△ 2,007,646,494	10.0%
資本合計	16,933,807,362	94.8%	19,961,309,039	93.3%	△ 3,027,501,677	84.8%
負債・資本合計	17,866,735,564	100.0%	21,386,084,773	100.0%	△ 3,519,349,209	83.5%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	5,781,538,157	85.2%	8,736,989,238	93.4%	△ 2,955,451,081	66.2%
有形固定資産	5,779,068,719	85.1%	6,047,811,047	64.6%	△ 268,742,328	95.6%
土地	298,015,082	4.4%	298,015,082	3.2%	0	100.0%
建物	4,864,094,237	71.7%	5,132,981,331	54.9%	△ 268,887,094	94.8%
構築物	241,547,563	3.6%	248,269,977	2.7%	△ 6,722,414	97.3%
器械備品	375,051,057	5.5%	368,183,877	3.9%	6,867,180	101.9%
車両	360,780	0.0%	360,780	0.0%	0	100.0%
無形固定資産	2,469,438	0.0%	3,364,962	0.0%	△ 895,524	73.4%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	2,025,738	0.0%	2,921,262	0.0%	△ 895,524	69.3%
投資等	0	0.0%	2,685,813,229	28.7%	△ 2,685,813,229	皆減
本部資本剰余金 投入額	0	0.0%	2,685,813,229	28.7%	△ 2,685,813,229	皆減
流動資産	834,115,842	12.3%	426,458,686	4.6%	407,657,156	195.6%
現金預金	435,703,180	6.4%	101,337,231	1.1%	334,365,949	430.0%
未収金	391,899,405	5.8%	324,961,301	3.5%	66,938,104	120.6%
貯蔵品	6,513,257	0.1%	160,154	0.0%	6,353,103	4066.9%
繰延勘定	172,150,811	2.5%	193,508,856	2.1%	△ 21,358,045	89.0%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	172,150,811	2.5%	193,508,856	2.1%	△ 21,358,045	89.0%
資産合計	6,787,804,810	100.0%	9,356,956,780	100.0%	△ 2,569,151,970	72.5%

固定負債	859,978,149	12.7%	859,978,149	9.2%	0	100.0%
他会計借入金	859,978,149	12.7%	0	0.0%	859,978,149	皆増
本部借入金	0	0.0%	859,978,149	9.2%	△ 859,978,149	皆減
流動負債	268,583,240	4.0%	234,565,759	2.5%	34,017,481	114.5%
未払金	262,671,354	3.9%	234,374,956	2.5%	28,296,398	112.1%
未払消費税及び 地方消費税	697,734	0.0%	171,923	0.0%	525,811	405.8%
前受金	20,830	0.0%	18,880	0.0%	1,950	110.3%
その他流動負債	5,193,322	0.1%	0	0.0%	5,193,322	皆減
負債合計	1,128,561,389	16.6%	1,094,543,908	11.7%	34,017,481	103.1%
資本金	6,082,474,871	89.6%	6,336,144,153	67.7%	△ 253,669,282	96.0%
自己資本金	188,628,538	2.8%	188,628,538	2.0%	0	100.0%
借入資本金	5,893,846,333	86.8%	6,147,515,615	65.7%	△ 253,669,282	95.9%
剰余金	△ 423,231,450	△ 6.2%	1,926,268,719	20.6%	△ 2,349,500,169	-
資本剰余金	1,910,453,187	28.1%	1,730,888,934	18.5%	179,564,253	110.4%
欠損金	2,333,684,637	△ 34.4%	195,379,785	2.1%	2,138,304,852	-
資本合計	5,659,243,421	83.4%	8,262,412,872	88.3%	△ 2,603,169,451	68.5%
負債・資本合計	6,787,804,810	100.0%	9,356,956,780	100.0%	△ 2,569,151,970	72.5%

(注) 1 構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

2 欠損金欄の平成22年度の金額は、未処分利益剰余金である。

比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	848,781,190	85.8%	979,496,341	90.1%	△ 130,715,151	86.7%
有形固定資産	848,506,590	85.8%	872,425,023	80.2%	△ 23,918,433	97.3%
土地	39,881,445	4.0%	39,881,445	3.7%	0	100.0%
建物	616,594,505	62.3%	647,664,536	59.5%	△ 31,070,031	95.2%
構築物	52,661,624	5.3%	55,628,252	5.1%	△ 2,966,628	94.7%
器械備品	138,362,584	14.0%	128,244,358	11.8%	10,118,226	107.9%
車両	1,006,432	0.1%	1,006,432	0.1%	0	100.0%
無形固定資産	274,600	0.0%	274,600	0.0%	0	100.0%
電話加入権	274,600	0.0%	274,600	0.0%	0	100.0%
投資等	0	0.0%	106,796,718	9.8%	△ 106,796,718	皆減
本部資本剰余金 投入額	0	0.0%	106,796,718	9.8%	△ 106,796,718	皆減
流動資産	119,354,212	12.1%	86,230,451	7.9%	33,123,761	138.4%
現金預金	30,573,195	3.1%	7,068,611	0.6%	23,504,584	432.5%
未収金	84,257,449	8.5%	74,804,359	6.9%	9,453,090	112.6%
貯蔵品	4,482,466	0.5%	4,357,481	0.4%	124,985	102.9%
前払金	41,102	0.0%	0	0.0%	41,102	皆増
繰延勘定	21,149,127	2.1%	21,885,667	2.0%	△ 736,540	96.6%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	21,149,127	2.1%	21,885,667	2.0%	△ 736,540	96.6%
資産合計	989,284,529	100.0%	1,087,612,459	100.0%	△ 98,327,930	91.0%

固定負債	861,526,086	87.1%	861,526,086	79.2%	0	100.0%
他会計借入金	861,526,086	87.1%	0	0.0%	861,526,086	皆増
本部借入金	0	0.0%	861,526,086	79.2%	△ 861,526,086	皆減
流動負債	78,124,769	7.9%	81,136,111	7.5%	△ 3,011,342	96.3%
未払金	76,732,984	7.8%	79,647,322	7.3%	△ 2,914,338	96.3%
未払消費税及び 地方消費税	701,835	0.1%	212,439	0.0%	489,396	330.4%
前受金	25,810	0.0%	25,810	0.0%	0	100.0%
その他流動負債	664,140	0.1%	1,250,540	0.1%	△ 586,400	53.1%
負債合計	939,650,855	95.0%	942,662,197	86.7%	△ 3,011,342	99.7%
資本金	585,140,056	59.1%	635,411,288	58.4%	△ 50,271,232	92.1%
自己資本金	36,867,441	3.7%	36,867,441	3.4%	0	100.0%
借入資本金	548,272,615	55.4%	598,543,847	55.0%	△ 50,271,232	91.6%
剰余金	△ 535,506,382	△54.1%	△ 490,461,026	△45.1%	△ 45,045,356	109.2%
資本剰余金	164,172,267	16.6%	113,441,621	10.4%	50,730,646	144.7%
欠損金	699,678,649	△70.7%	603,902,647	△55.5%	95,776,002	115.9%
資本合計	49,633,674	5.0%	144,950,262	13.3%	△ 95,316,588	34.2%
負債・資本合計	989,284,529	100.0%	1,087,612,459	100.0%	△ 98,327,930	91.0%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	5,348,034,527	71.7%	5,460,382,157	86.4%	△ 112,347,630	97.9%
有形固定資産	5,346,453,938	71.7%	5,458,801,568	86.4%	△ 112,347,630	97.9%
土地	152,768,746	2.0%	152,768,746	2.4%	0	100.0%
建物	4,079,720,870	54.7%	4,254,354,178	67.3%	△ 174,633,308	95.9%
構築物	303,420,810	4.1%	318,661,528	5.0%	△ 15,240,718	95.2%
器械備品	810,394,694	10.9%	732,868,298	11.6%	77,526,396	110.6%
車両	148,818	0.0%	148,818	0.0%	0	100.0%
無形固定資産	1,580,589	0.0%	1,580,589	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,580,589	0.0%	1,580,589	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,918,240,026	25.7%	664,516,031	10.5%	1,253,723,995	288.7%
現金預金	1,361,511,971	18.3%	35,215,868	0.6%	1,326,296,103	3866.2%
未収金	508,103,875	6.8%	611,578,908	9.7%	△ 103,475,033	83.1%
貯蔵品	48,624,180	0.7%	17,588,635	0.3%	31,035,545	276.5%
前払金	0	0.0%	132,620	0.0%	△ 132,620	皆減
繰延勘定	189,728,215	2.5%	192,689,760	3.1%	△ 2,961,545	98.5%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	189,728,215	2.5%	192,689,760	3.1%	△ 2,961,545	98.5%
資産合計	7,456,002,768	100.0%	6,317,587,948	100.0%	1,138,414,820	118.0%

固定負債	3,965,797,675	53.2%	2,350,882,675	37.2%	1,614,915,000	168.7%
企業債	1,359,500,000	18.2%	0	0.0%	1,359,500,000	皆増
他会計借入金	2,606,297,675	35.0%	0	0.0%	2,606,297,675	皆増
本部借入金	0	0.0%	2,350,882,675	37.2%	△ 2,350,882,675	皆減
流動負債	2,249,669,546	30.2%	294,360,157	4.7%	1,955,309,389	764.3%
未払金	2,244,429,503	30.1%	288,675,689	4.6%	1,955,753,814	777.5%
未払消費税及び 地方消費税	721,217	0.0%	159,678	0.0%	561,539	451.7%
前受金	0	0.0%	404,430	0.0%	△ 404,430	皆減
その他流動負債	4,518,826	0.1%	5,120,360	0.1%	△ 601,534	88.3%
負債合計	6,215,467,221	83.4%	2,645,242,832	41.9%	3,570,224,389	235.0%
資本金	5,185,184,195	69.5%	5,328,317,399	84.3%	△ 143,133,204	97.3%
自己資本金	85,913,799	1.2%	85,913,799	1.4%	0	100.0%
借入資本金	5,099,270,396	68.4%	5,242,403,600	83.0%	△ 143,133,204	97.3%
剰余金	△ 3,944,648,648	△52.9%	△ 1,655,972,283	△26.2%	△ 2,288,676,365	238.2%
資本剰余金	2,053,026,077	27.5%	2,011,887,415	31.8%	41,138,662	102.0%
欠損金	5,997,674,725	△80.4%	3,667,859,698	△58.1%	2,329,815,027	163.5%
資本合計	1,240,535,547	16.6%	3,672,345,116	58.1%	△ 2,431,809,569	33.8%
負債・資本合計	7,456,002,768	100.0%	6,317,587,948	100.0%	1,138,414,820	118.0%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（県立病院経営室）

（単位：円）

科 目	平成23年度		平成22年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	294,558,514	32.4%	7,268,737,509	94.3%	△ 6,974,178,995	4.1%
有形固定資産	4,380,741	0.5%	9,690,180	0.1%	△ 5,309,439	45.2%
器械備品	4,380,741	0.5%	9,690,180	0.1%	△ 5,309,439	45.2%
投資等	290,177,773	32.0%	7,259,047,329	94.1%	△ 6,968,869,556	4.0%
投資有価証券	200,235,273	22.0%	300,450,472	3.9%	△ 100,215,199	66.6%
長期貸付金	89,942,500	9.9%	93,600,000	1.2%	△ 3,657,500	96.1%
病院貸付金	0	0.0%	4,072,386,910	52.8%	△ 4,072,386,910	皆減
病院資本剰余金 投入額	0	0.0%	2,792,609,947	36.2%	△ 2,792,609,947	皆減
流動資産	612,504,256	67.4%	441,773,803	5.7%	170,730,453	138.6%
現金預金	575,901,781	63.4%	434,140,038	5.6%	141,761,743	132.7%
未収金	33,602,475	3.7%	4,633,765	0.1%	28,968,710	725.2%
その他流動資産	3,000,000	0.3%	3,000,000	0.0%	0	100.0%
繰延勘定	1,143,966	0.1%	1,228,165	0.0%	△ 84,199	93.1%
控除対象外消費税 及び地方消費税額	1,143,966	0.1%	1,228,165	0.0%	△ 84,199	93.1%
資産合計	908,206,736	100.0%	7,711,739,477	100.0%	△ 6,803,532,741	11.8%

固定負債	788,905,633	86.9%	4,892,898,466	63.4%	△ 4,103,992,833	16.1%
他会計借入金	386,372,090	42.5%	0	0.0%	386,372,090	皆増
引当金	402,533,543	44.3%	434,140,038	5.6%	△ 31,606,495	92.7%
病院借入金	0	0.0%	4,458,758,428	57.8%	△ 4,458,758,428	皆減
流動負債	117,642,749	13.0%	22,404,004	0.3%	95,238,745	525.1%
未払金	112,547,985	12.4%	19,151,418	0.2%	93,396,567	587.7%
未払消費税及び 地方消費税	13,843	0.0%	118,560	0.0%	△ 104,717	11.7%
その他流動負債	5,080,921	0.6%	3,134,026	0.0%	1,946,895	162.1%
負債合計	906,548,382	99.8%	4,915,302,470	63.7%	△ 4,008,754,088	18.4%
資本金	820,217	0.1%	820,217	0.0%	0	100.0%
借入資本金	820,217	0.1%	820,217	0.0%	0	100.0%
剰余金	838,137	0.1%	2,795,616,790	36.3%	△ 2,794,778,653	0.0%
資本剰余金	838,137	0.1%	2,795,616,790	36.3%	△ 2,794,778,653	0.0%
資本合計	1,658,354	0.2%	2,796,437,007	36.3%	△ 2,794,778,653	0.1%
負債・資本合計	908,206,736	100.0%	7,711,739,477	100.0%	△ 6,803,532,741	11.8%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区分		実績					すう勢比率				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総合医療センター	延べ入院患者数(人)	112,061	107,846	102,564	107,623	107,640	100.0	96.2	91.5	96.0	96.1
	延べ外来患者数(人)	154,416	151,368	141,164	137,466	129,328	100.0	98.0	91.4	89.0	83.8
	計	266,477	259,214	243,728	245,089	236,968	100.0	97.3	91.5	92.0	88.9
	入院外来収益(千円)	7,129,914	7,237,912	7,452,513	8,338,080	8,135,526	100.0	101.5	104.5	116.9	114.1
こころの医療センター	延べ入院患者数(人)	125,801	120,019	122,468	121,887	120,149	100.0	95.4	97.4	96.9	95.5
	延べ外来患者数(人)	51,850	53,037	56,551	60,071	62,765	100.0	102.3	109.1	115.9	121.1
	計	177,651	173,056	179,019	181,958	182,914	100.0	97.4	100.8	102.4	103.0
	入院外来収益(千円)	2,066,186	2,077,303	2,273,885	2,318,839	2,427,667	100.0	100.5	110.1	112.2	117.5
一志病院	延べ入院患者数(人)	10,948	11,213	11,552	12,721	12,038	100.0	102.4	105.5	116.2	110.0
	延べ外来患者数(人)	18,985	19,386	20,178	22,646	22,343	100.0	102.1	106.3	119.3	117.7
	計	29,933	30,599	31,730	35,367	34,381	100.0	102.2	106.0	118.2	114.9
	入院外来収益(千円)	397,020	429,390	435,081	486,228	494,788	100.0	108.2	109.6	122.5	124.6
志摩病院	延べ入院患者数(人)	106,714	99,857	89,793	73,165	74,504	100.0	93.6	84.1	68.6	69.8
	延べ外来患者数(人)	140,341	118,179	82,456	74,348	74,024	100.0	84.2	58.8	53.0	52.7
	計	247,055	218,036	172,249	147,513	148,528	100.0	88.3	69.7	59.7	60.1
	入院外来収益(千円)	3,907,001	3,685,825	3,237,476	2,576,115	2,533,796	100.0	94.3	82.9	65.9	64.9
計	延べ入院患者数(人)	355,524	338,935	326,377	315,396	314,331	100.0	95.3	91.8	88.7	88.4
	延べ外来患者数(人)	365,592	341,970	300,349	294,531	288,460	100.0	93.5	82.2	80.6	78.9
	計	721,116	680,905	626,726	609,927	602,791	100.0	94.4	86.9	84.6	83.6
	入院外来収益(千円)	13,500,121	13,430,430	13,398,955	13,719,262	13,591,778	100.0	99.5	99.3	101.6	100.7

業務分析表

区分		総合医療センター				こころの医療センター				一志病院				志摩病院				備考		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	全国同規模病院(H22)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	全国同規模病院(H22)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	全国同規模病院(H22)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	全国同規模病院(H22)			
病床数・利用率	※計	許可病床数(床)	446	446	446	—	400	400	400	—	90	90	90	—	350	350	350	—	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数	
		病床利用率(%)	63.0	66.1	65.9	77.7	83.9	83.5	82.1	72.9	35.2	38.7	36.5	70.9	70.3	57.3	58.2	71.4		
	うち一般	許可病床数(床)	442	442	442	—	—	—	—	—	46	46	46	—	250	250	250	—		
		病床利用率(%)	63.6	66.6	66.3	78.5	—	—	—	—	68.8	75.8	71.5	70.3	60.0	42.7	44.7	72.8		
	うち精神	許可病床数(床)	—	—	—	—	400	400	400	—	—	—	—	—	100	100	100	—		
		病床利用率(%)	—	—	—	—	83.9	83.5	82.1	73.0	—	—	—	—	95.9	93.7	91.8	61.4		
患者数	1日平均患者数(人)	入院	281	295	294	337	336	334	328	204	32	35	33	51	246	200	204	239	年延入院患者数 入院診療日数	
		外来	583	566	530	844	234	247	257	134	83	93	92	144	341	306	303	580	年延外来患者数 外来診療日数	
	入院外来患者比率(%)		137.6	127.7	120.1	168.4	46.2	49.3	52.2	45.3	174.7	178.0	185.6	199.1	91.8	101.6	99.4	165.9	年延外来患者数 年延入院患者数	
	職員1人あたり患者数(人)	医師	入院	3.2	3.4	3.5	4.7	20.9	20.8	19.3	17.1	5.4	5.9	5.4	9.0	7.3	7.2	8.7	5.2	年延入院患者数 年延医師数
		外来	4.4	4.4	4.2	7.9	9.6	10.2	10.1	7.7	9.5	10.5	10.0	17.9	6.7	7.3	8.6	8.7	年延外来患者数 年延医師数	
	看護部門職員	入院	0.8	0.8	0.7	1.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.0	1.1	1.0	1.2	1.4	1.2	1.1	1.0	1.0	年延入院患者数 年延看護職員数
		外来	1.1	1.0	0.9	1.7	0.9	0.9	1.0	0.8	1.7	1.9	1.9	2.4	1.3	1.2	1.1	1.7	1.7	年延外来患者数 年延看護職員数
	収入(円)	患者1人1日あたり診療収入	入院	51,158	56,051	54,915	44,620	16,024	16,175	17,172	16,262	22,939	23,808	25,354	21,075	25,716	24,194	22,976	42,221	入院収益 年延入院患者数
			外来	15,624	16,773	17,200	11,090	5,508	5,782	5,807	8,420	8,429	8,097	8,485	7,893	11,259	10,840	11,104	10,739	外来収益 年延外来患者数
		職員1人1日あたり診療収入	医師	230,699	264,089	261,240	298,659	387,308	395,234	389,361	342,626	204,937	225,628	222,377	330,288	262,739	251,795	295,866	314,606	314,606
看護部門職員			56,407	59,825	54,432	65,034	35,837	36,540	38,446	35,231	37,475	41,690	41,807	44,031	50,708	41,773	37,768	60,886	60,886	入院外来収益 年延看護職員数
費用(円)	患者1人1日あたり薬品費	4,344	4,332	4,481	3,190	482	509	487	1,350	1,939	1,371	1,645	1,923	1,974	1,861	2,104	2,845	2,845	薬品費(投薬注射) 年延入院外来患者数	
	入院患者1人1日あたり給食材料費	562	556	559	383	723	740	752	493	700	692	675	335	732	740	716	401	401	患者用給食材料費 年延入院患者数	
対医薬収益率(%)	薬品費	13.0	11.7	11.9	12.7	3.6	3.8	3.4	9.2	12.3	8.6	9.5	14.0	9.8	9.8	11.0	11.8	11.8	薬品費 医薬収益	
	その他医療材料費	15.0	13.6	13.3	11.7	1.0	1.0	0.9	1.2	5.7	7.1	5.6	5.7	11.2	11.2	8.5	11.2	11.2	その他医療材料費 医薬収益	
	他会計繰入金	19.9	20.3	21.7	12.4	42.5	44.5	40.5	52.0	63.3	58.9	57.5	26.9	22.8	30.2	45.9	14.4	14.4	他会計繰入金 医薬収益	

全国同規模病院：全国自治体病院のうち、総合医療センターは400床以上500床未満、こころの医療センターは精神科病院、一志病院は50床以上100床未満、志摩病院は300床以上400床未満の平均である。

※ 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。

平成23年度三重県公営企業会計（病院事業庁）
決算審査意見書

平成24年8月

三重県監査委員事務局
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地
電話(059) 224-2923